

工 事 番 号							
設計年度	令和3年度		橋梁補修工事（市道長谷47号線 1 号橋梁外1橋） 社会資本整備交付金事業 三原市 長谷四丁目外 交付金 仕 様 書				
施工月日	令和 年 月 日						
施工方法	請 負						
工事期間							
工 事 概 要			起 工 理 由				
橋梁補修工事 N=2橋 断面修復工 0.385m3 ひび割れ注入工 10.80m ひび割れ充填工 3.20m 表面含浸工 87m2 塗替塗装工 53m2							

特記仕様書

第1章 総則 第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、三原市長谷四丁目外 橋梁補修工事（市道長谷47号線 1号橋梁外1橋）に適用する。
 - 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・ **土木工事共通仕様書（令和3年8月）広島版**
- ※ 土木工事共通仕様書は「広島県の調達情報」に掲載している。
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>
・ その他関連規格類

第2節 情報共有システム

- 1 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に基づき実施すること。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。
広島県工事中情報共有システム
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 監督員及び受注者が使用する情報共有サービスのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。
- 4 なお、工事完成時については、提出する必要がある工事成果品を電子納品すること。また、試行期間中は工事検査を紙媒体で受検することから、受注者は、工事成果品 1部を紙媒体により提出すること。
- 5 受注者は、監督員及びサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

第2章 施工条件 第1節 工程

- 1 施工時期・時間の制限
施工内容 工事全般
時期 全工事期間
時間 調整による
施工方法・理由 工事箇所が生活道路であるため、調整を十分に行い理解を得たうえで施工を行うこと。

第2節 用地

- 1 現場の復旧
原形復旧とする。

第3節 安全対策

- 1 交通誘導員・警戒船・保安要員
車道上の作業期間中、交通誘導員を2（人／日）見込んでいる。

第4節 工事用道路

- | | | |
|---|----------|--|
| 1 | 一般道路 | |
| | 使用期間 | 工事施工期間 |
| | 使用時間 | 8時～17時 |
| | 工事中・後の処置 | 随時 清掃，工事後 舗装欠損部補修（工事前・後の写真により監督員と協議すること。設計変更の対象とする。） |

第5節 建設副産物

1 産業廃棄物の場外保管

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m²以上の面積で保管する場合には，保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また，届出事項を変更する場合は事前に変更届を，保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。
ただし，産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

第6節 その他

1 工事用機資材の仮置き

場所 受注者が責任をもって確保すること。

2 各補修工の事前調査

1) 受注者は，橋梁洗浄後に補修図をもとに詳細計測を行い，補修内容について発注者と協議を行った後，施工を行うこと。

3 塗替塗装工の塗膜剥離調査

1) 受注者は，既設の塗膜について剥離調査を実施し，剥離に要する材料の使用量など事前に監督員へ報告すること。

4 有害物質を含む塗膜等の処分

1) 受注者は，事前に塗膜分析試験を行い，有害物質を含む塗膜が検出された場合は，特別管理産業廃棄物として適切に処理しなければならない。
なお，処分費については変更の対象とする。

第3章 設計金額

第1節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

土木工事共通仕様書（令和3年8月）『1-1-31 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては，排出ガス対策型（第2次基準値）以上の建設機械の使用に努めること。

なお，使用する排出ガス対策型建設機械について，基準値による設計変更は行わない。

第4章 施工箇所が点在する工事の積算

本案件は、施工箇所が点在する工事の適正な工事価格を算出するため、参考図書に示す工事箇所と施工箇所を基に次の算定方法とする。

算定方法

(1) 工事原価

ア 直接工事費

施工数量及び施工規模等は工事箇所ごとに判断し、施工箇所ごとに直接工事費を算定する。

イ 間接工事費

(ア) 共通仮設費

a 共通仮設費の率分

対象額は工事箇所ごとに算定し、工種区分はその工事箇所の主たるものを適用する。

b 共通仮設費率の補正

工事箇所ごとに施工地域及び工事場所区分の補正を行う。

c 積上げ計算による部分

施工箇所ごとに必要な経費を積上げる。

(イ) 現場管理費

a 現場管理費の算定

対象とする純工事費は工事箇所ごとに算定する。

b 現場管理費率の補正

工事箇所ごとに施工時期、工事期間、施工地域及び工事場所区分の補正を行う。

(ウ) 中止期間中の現場維持費等の費用

a 積上げ項目

施工箇所ごとに必要な経費を積上げる。

b 率で計上する項目

対象額及び一時中止日数は施工箇所ごとに算定する。

(2) 一般管理費等

ア 一般管理費等の算定

対象とする工事原価は(1)の計による。

なお、処分費等が「共通仮設費対象額(P)＋準備費に含まれる処分費」に占める割合の3%を超える場合又は処分費等が3千万円を超える場合、率計算の対象については、工事箇所ごとに対象額を算出する。

第5章 工事保険等

第1節 法定外の労災保険の付保

1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

2 受注者は、建設工事請負契約約款第54条に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。

3 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乘せ給付等を行うことを目的とするものであり、(公財)建設業福祉共済団、(一社)建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、(一社)全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

第6章 その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

工事数量総括表

頁0 -0001

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
橋梁保全工事		式		1	レベル1
橋梁付属物工		式		1	レベル2
伸縮継手工		式		1	レベル3
伸縮目地補修		橋		1	レベル4
橋梁補修工		式		1	レベル2
ひび割れ補修工		式		1	レベル3
充てん工法	【ポリマーセメント系注入材】	構造物		1	レベル4
低圧注入工法	【ポリマー超微粒子セメント系】	構造物		1	レベル4
断面修復工		式		1	レベル3
左官工法	【N-SSI工法 相当】	構造物		1	レベル4
表面被覆工		式		1	レベル3
下地処理		m2		30	レベル4
表面含浸工	【ケイ酸リチウム系含浸材（シラン混合型）	m2		30	レベル4
水切設置工		式		1	レベル3
水切設置工		m		27	レベル4
橋梁塗装工		式		1	レベル3
塗替塗装工	【さび安定化防錆塗装】	橋		1	レベル4

工事数量総括表

頁0 -0002

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
構造物撤去工		式		1	レベル2
運搬処理工		式		1	レベル3
殻運搬	【コンクリート殻】	m3		0.1	レベル4
殻処分	【コンクリート殻】	m3		0.1	レベル4
仮設工		式		1	レベル2
足場工		式		1	レベル3
足場	【吊足場】	m2		1	レベル4
全工種共通仮設		式		1	レベル1
仮設工		式		1	レベル2
交通管理工		式		1	レベル3
交通誘導警備員		人		8	レベル4
直接工事費					
技術管理費					
技術管理費		式		1	レベル2
技術管理費		式		1	レベル3
施工調査費		式		1	レベル4
共通仮設費率分					
共通仮設費計					

工事数量総括表

頁0 -0003

[illegible]

工事数量総括表

頁0 -0001

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
橋梁保全工事		式		1	レベル1
舗装工		式		1	レベル2
舗装打換え工		式		1	レベル3
舗装版切断	【アスファルト舗装版】	式		1	レベル4
舗装版破碎(小規模)	【アスファルト舗装版】	m2		54	レベル4
殻運搬	【アスファルト殻】	m3		1	レベル4
殻処分	【アスファルト殻】	m3		1	レベル4
基層	【平均幅員3.0m超】	m2		19	レベル4
表層	【平均幅員3.0m超】	m2		54	レベル4
防護柵工		式		1	レベル2
路側防護柵工		式		1	レベル3
ガードレール	【Gr-C-2B-4H】	m		14	レベル4
橋梁付属物工	部材取替	式		1	レベル2
伸縮継手工		式		1	レベル3
伸縮目地補修		橋		1	レベル4
橋梁補修工		式		1	レベル2
ひび割れ補修工		式		1	レベル3

工事数量総括表

頁0 -0002

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
低圧注入工法	【エポキシ樹脂系注入材3種】	構造物	1	レベル4
断面修復工		式	1	レベル3
左官工法	【修復深さ d=5cm】	構造物	1	レベル4
表面被覆工		式	1	レベル3
下地処理		m2	58	レベル4
表面含浸工	【ケイ酸リチウム系含浸材（シラン混合型）】	m2	58	レベル4
水切設置工		式	1	レベル3
水切設置工		m	16	レベル4
橋梁塗装工		式	1	レベル3
防錆処理工	【常温亜鉛メッキ塗料】	橋	1	レベル4
構造物撤去工		式	1	レベル2
運搬処理工		式	1	レベル3
殻運搬	【コンクリート殻】	m3	0.2	レベル4
殻処分	【コンクリート殻】	m3	0.2	レベル4
仮設工		式	1	レベル2
足場工		式	1	レベル3
足場	【吊足場】	m2	1	レベル4
全工種共通仮設		式	1	レベル1

工事数量総括表

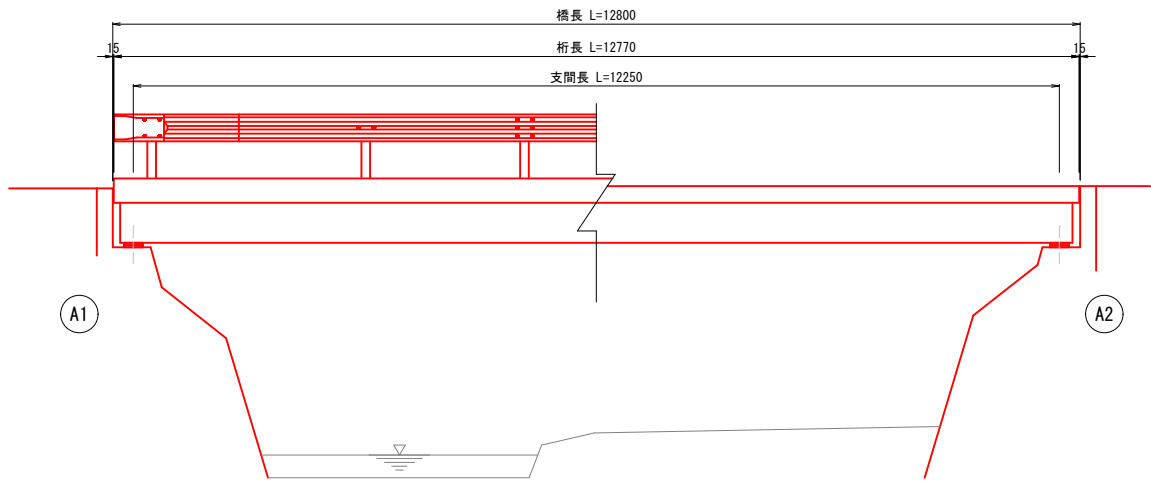
頁0 -0003

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
仮設工		式		1	レベル2
交通管理工		式		1	レベル3
交通誘導警備員		人		12	レベル4
直接工事費					
共通仮設費率分					
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費					
工事原価					
一般管理費率分					
契約保証費					
一般管理費計					
工事価格					
消費税相当額					
工事費計					
契約保証費計					

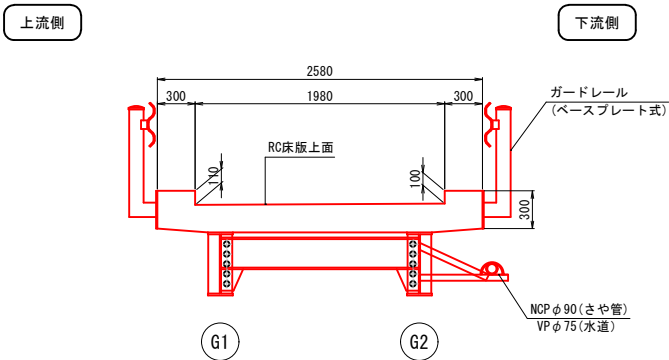
図面番号	1-1	縮尺	図 示
工 種	橋梁補修工事		
種 別	長谷47号線 1号橋梁 全体一般図	番 号	
路 線 名	市道 長谷47 号線		
工事箇所	三原市 長谷		
三 原 市			

全体一般図

側面図 S=1:50



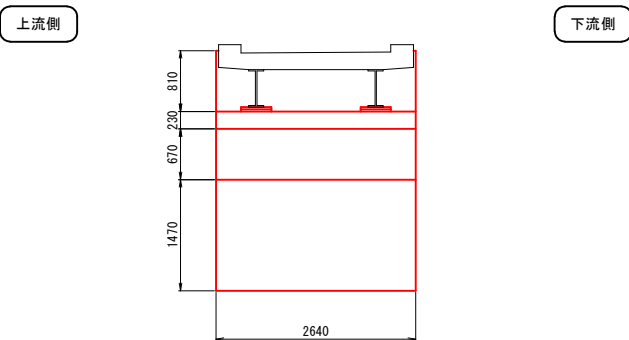
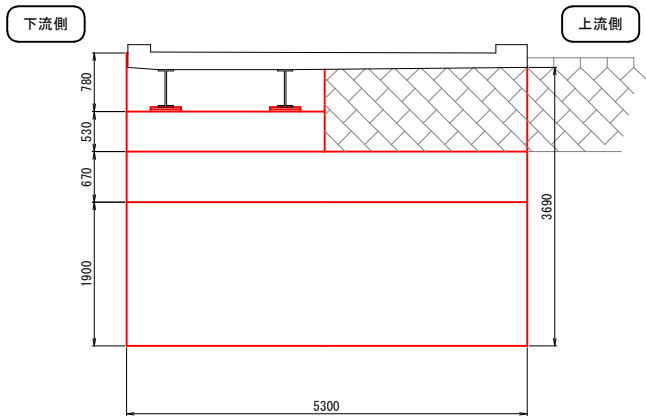
標準断面図 S=1:30



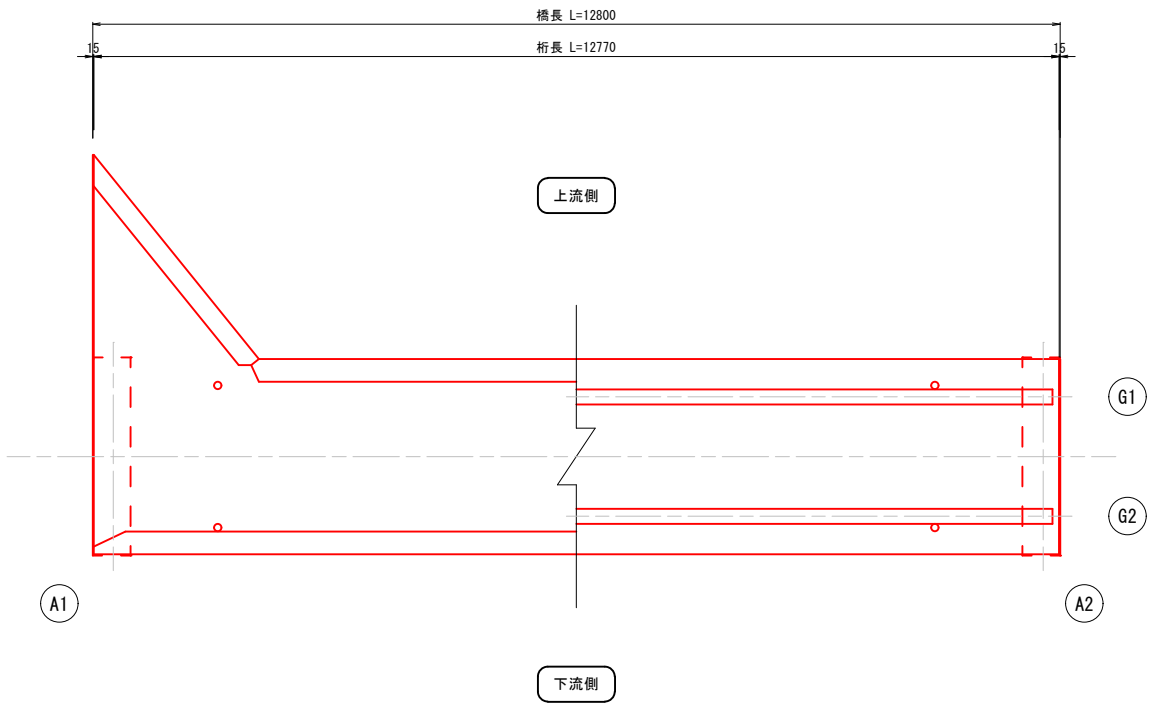
下部工正面図 S=1:50

A1橋台

A2橋台



平面図 S=1:50



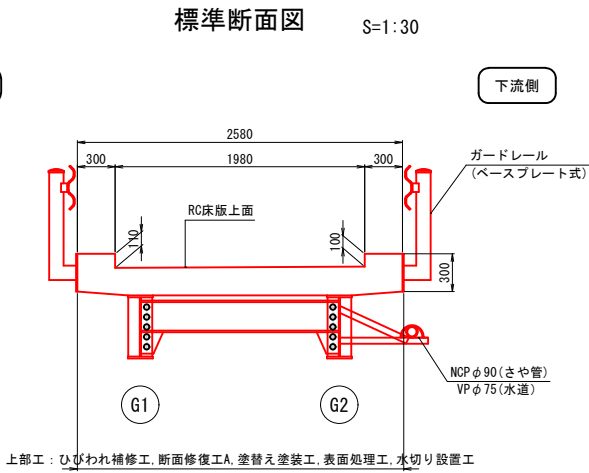
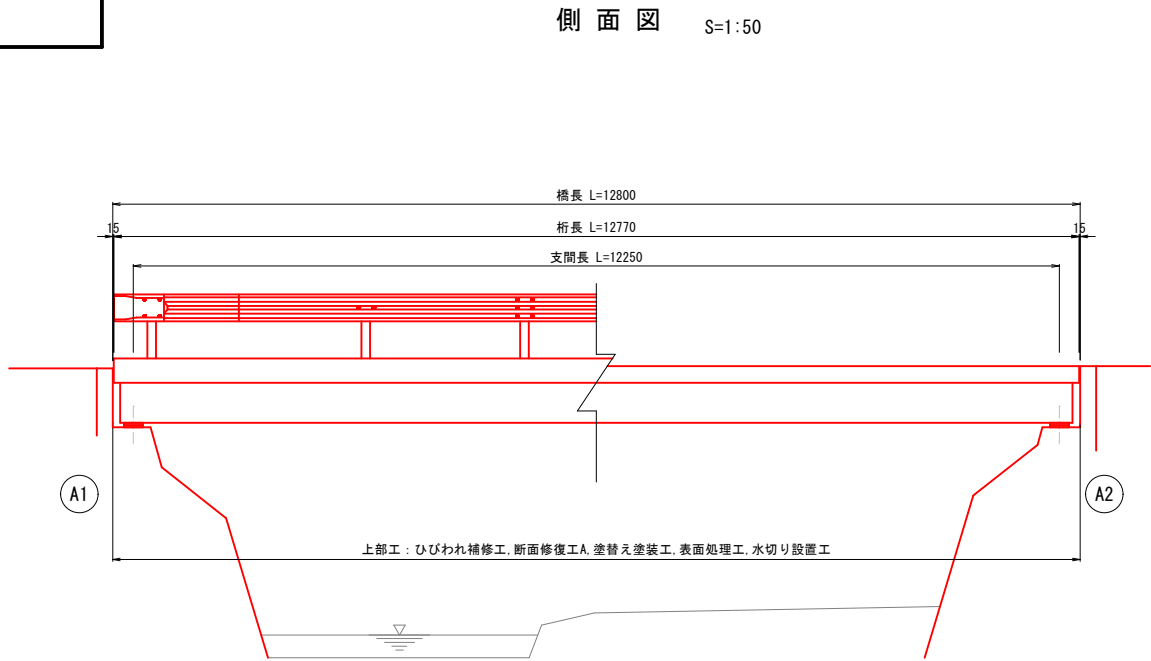
設 計 条 件	単位				
橋 格		不明			
橋 梁 形 式		上部工	単純鋼桁橋		
		下部工	A1橋台	重力式橋台(推定)	
			A2橋台	重力式橋台(推定)	
			基 礎	直接基礎	
橋 長	m	12.80			
桁 長	m	12.77			
支 間 長	m	12.25			
有 効 幅 員	m	1.94			
斜 角	度	60°			
設計水平震度	kh	不明			
使 用 材 料		上部工	$\sigma_{ck}=21\text{N/mm}^2$ (※)		
設計基準強度		下部工	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$ (※)		
竣工年/(適用示方書)	竣工年：1965年／(1964) (※)				

※使用材料、強度は推定。

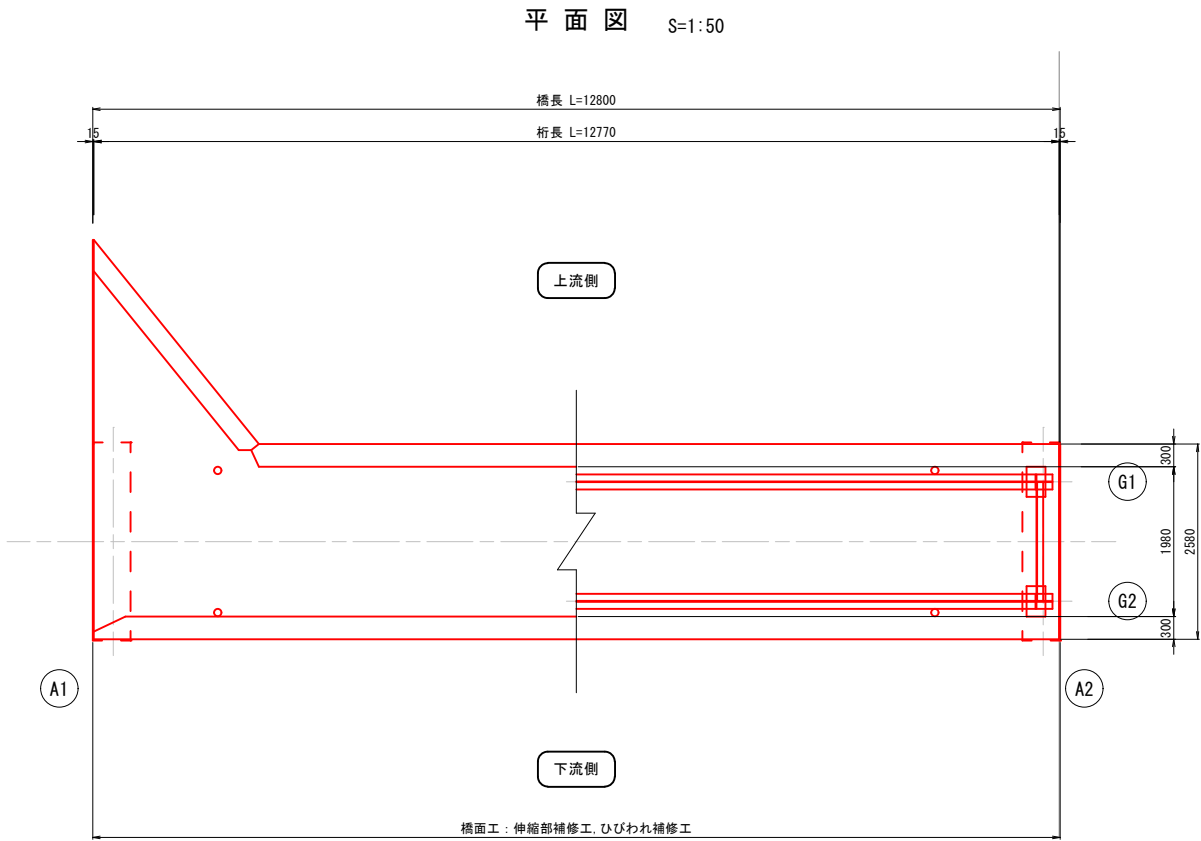
図面番号	1-2		縮尺	図 示	
工 種	橋梁補修工事				
種 別	長谷47号線 1号橋梁 補修一般図			番 号	
路 線 名	市道 長谷47 号線				
工事箇所	三原市 長谷				
三 原 市					

補修一般図

注記）本図面は現地での簡易な計測に基づき作成したものである。
部材寸法は施工前に現地を再確認の上決定のこと。

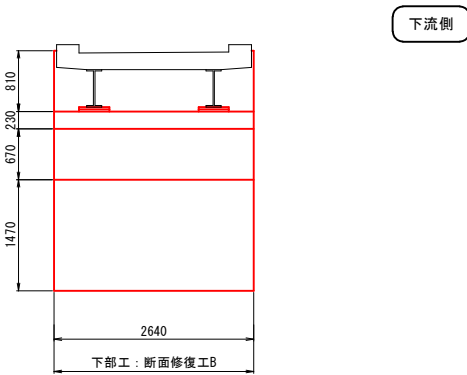
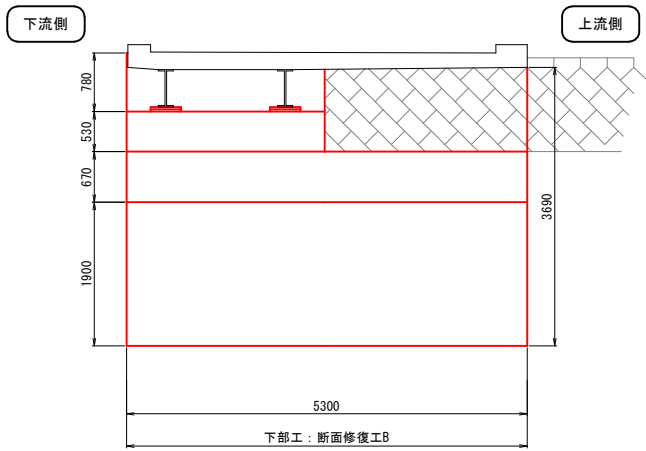


下部工正面図 S=1:50



A1橋台

A2橋台



橋梁補修工一覧表

補 修 工 法	補 修 内 容	対 象 部 材
ひびわれ補修工	ひびわれ注入工 (超微粒子セメント系)	床版, 地覆
	ひびわれ充填工 (ポリマーセメント系)	床版上面 (路面)
表面処理工	表面含浸工 (けい酸塩系+シリラン系混合型)	床版下面
断面修復工 A	左官工法 (ポリマーセメントモルタル) 防錆処理を含む	床版, 地覆
〃 B	〃 防錆処理を含まない	床版, 地覆, 橋台
塗替え塗装工	塗膜剥離剤塗布工+3種ケレン+さび安定化防錆工法	主桁, 横桁, 支承, 排水施設
伸縮部補修工	目地注入工 (常温目地材)	伸縮目地
水切り設置工	水切り設置	床版 (張出)

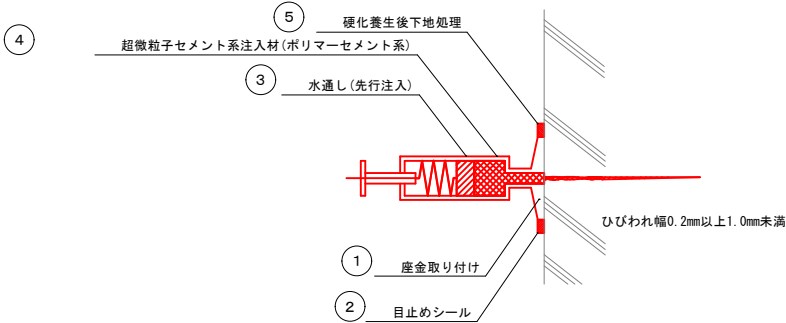
設 計 条 件		単位		
橋 格			不明	
橋 梁 形 式		上部工	単純鋼桁橋	
		下部工	A1橋台	重力式橋台(推定)
			A2橋台	重力式橋台(推定)
			基 礎	直接基礎
橋 長	m	12.80		
桁 長	m	12.77		
支 間 長	m	12.25		
有 効 幅 員	m	1.94		
斜 角	度	60°		
設計水平震度	kh	不明		
使 用 材 料		上部工	$\sigma_{ck}=21\text{N/mm}^2$ (※)	
		下部工	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$ (※)	
竣工年/(適用示方書)		竣工年：1965年／(1964) (※)		

※使用材料、強度は推定。

図面番号	1-3		縮尺	図 示	
工 種	橋梁補修工事				
種 別	長谷47号線 1号橋梁 補修詳細図			番 号	
路 線 名	市道 長谷47 号線				
工事箇所	三原市 長谷				
三 原 市					

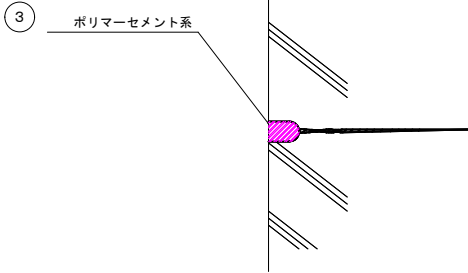
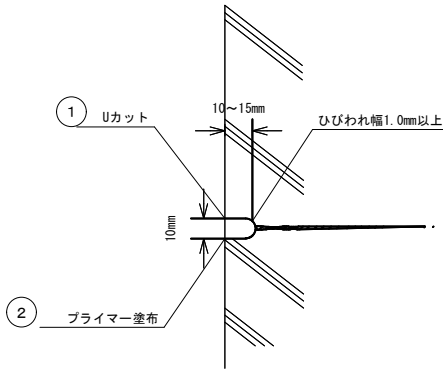
ひびわれ注入工

超微粒子セメント系注入材
(ポリマーセメント系)



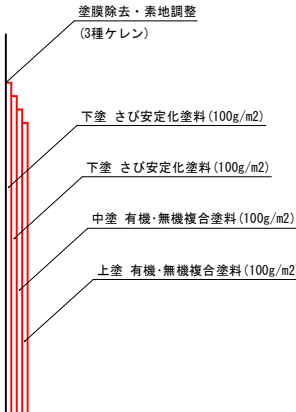
ひびわれ充填工

ポリマーセメント系



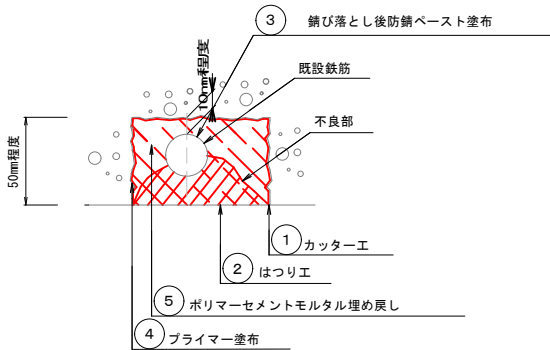
塗替え塗装工

さび安定化防錆工法 (NETIS登録No. SK-100009-VR) 相当



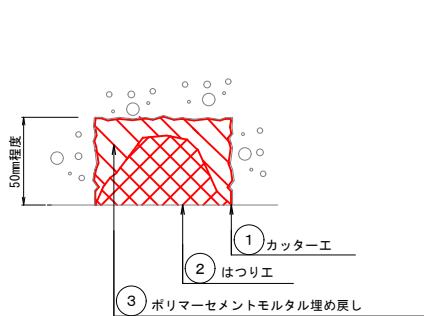
断面修復工A

左官工法 (防錆処理含む)
d=5cm



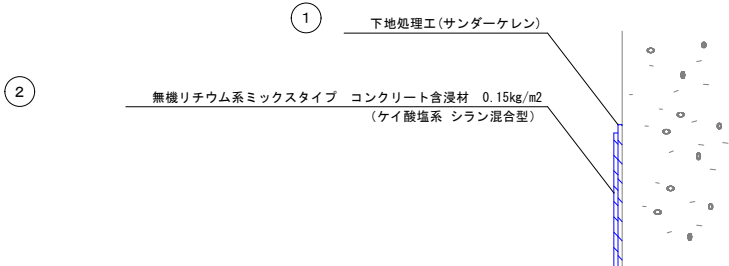
断面修復工B

左官工法 (防錆処理含まない)
d=5cm

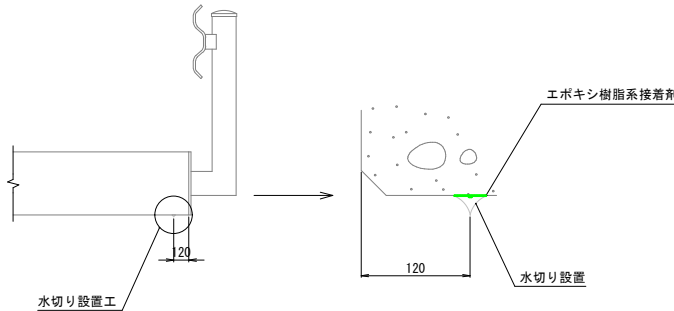


表面処理工

表面含浸工

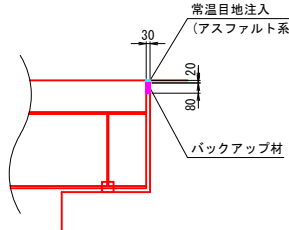


水切り設置工



伸縮部補修工

常温目地材注入



補修工法凡例

損 傷	記 号	補修対策
ひびわれ (0.2~0.5mm) 図中の数値は長さ (m) を示す。	0.60	ひびわれ注入工
ひびわれ (0.5~1.0mm) 図中の数値は長さ (m) を示す。	0.60	ひびわれ注入工
ひびわれ (1.0~2.0mm) 図中の数値は長さ (m) を示す。	0.60	ひびわれ充填工
ひびわれ (2.0~5.0mm) 図中の数値は長さ (m) を示す。	0.60	ひびわれ充填工
ひびわれ (5.0mm以上) 図中の数値は長さ (m) を示す。	0.60	ひびわれ充填工
浮き・剥離 図中の数値は面積 (m2) と幅×高さ (m) を示す。	0.08m2-0.40*0.20	断面修復工 (A)
剥落・鉄筋露出 図中の数値は面積 (m2) と幅×高さ (m) を示す。	0.08m2-0.40*0.20	断面修復工 (A)
変形・欠損 図中の数値は面積 (m2) と幅×高さ (m) を示す。	0.08m2-0.40*0.20	断面修復工 (B)
豆 板 図中の数値は面積 (m2) と幅×高さ (m) を示す。	0.08m2-0.40*0.20	断面修復工 (B)
	0.08m2-0.40*0.20	表面含浸工
防食機能の劣化及び腐食		塗替え塗装工
コンクリート舗装ひびわれ 5mm以上 図中の数値は長さを示す。(m)	0.8	ひびわれ充填工
	0.08m	水切り設置工
	0.08m	伸縮部補修工

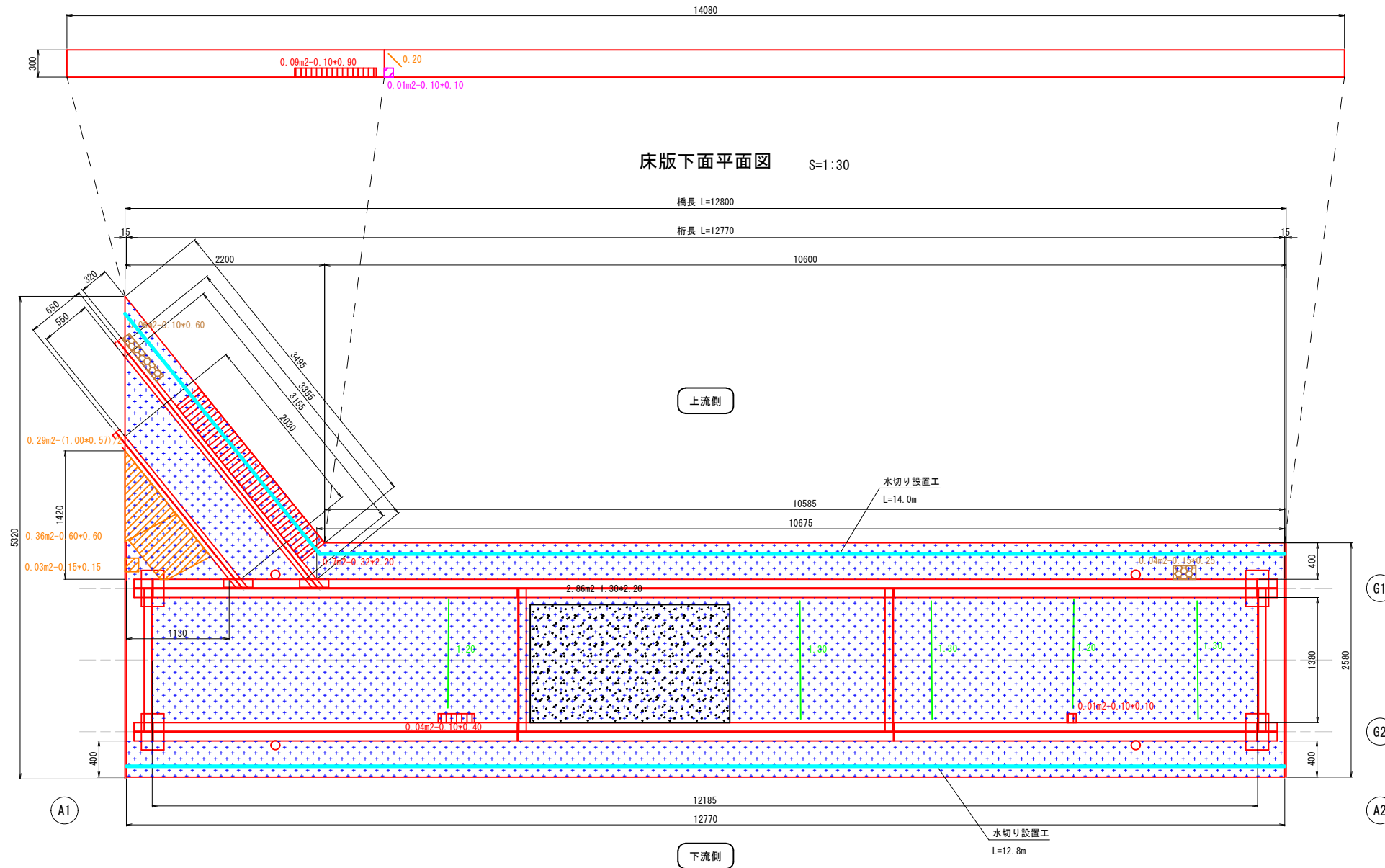
図面番号	1-4	縮尺	図 示
工 種	橋梁補修工事		
種 別	長谷47号線 1号橋梁 補修図 (1)	番号	
路線 河川名	市道 長谷47 号線		
工事箇所	三原市 長谷		
三 原 市			

補修図(1)

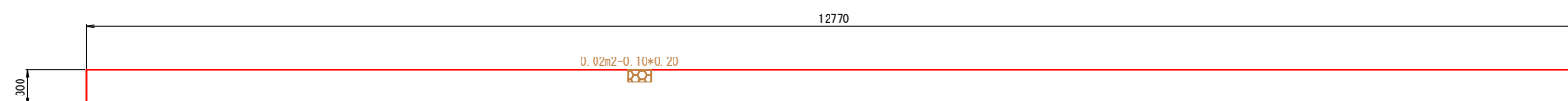
上部工（床版）

注記) 施工に当っては現地計測の上 施工数量を決定の事
ボルトのゆるみ・脱落箇所は締直しや設置を行う事

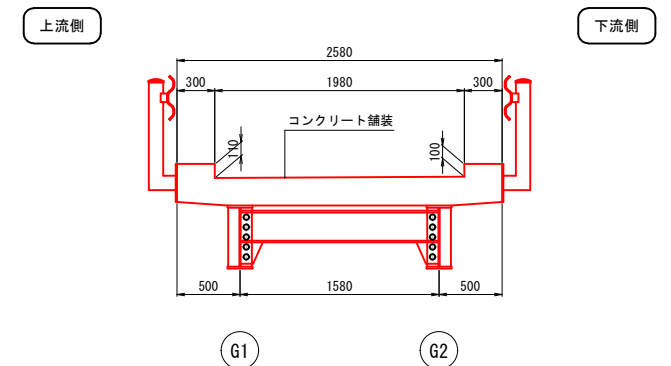
左側地覆側面図 S=1:30



右側地覆側面図 S=1:30



標準断面図 S=1:30



補修工法凡例

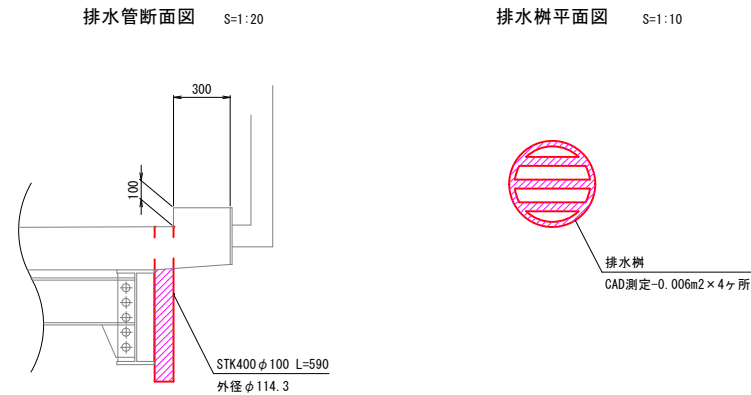
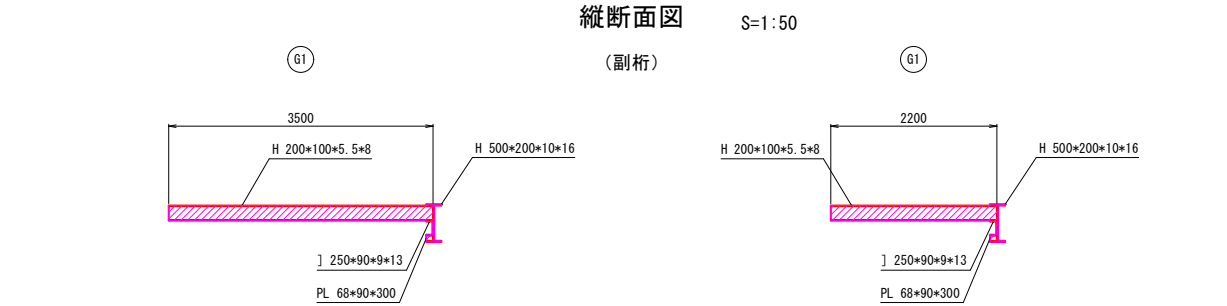
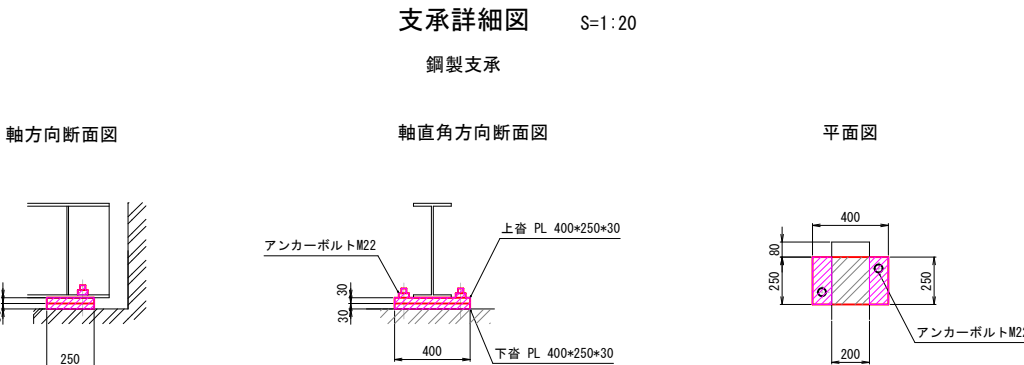
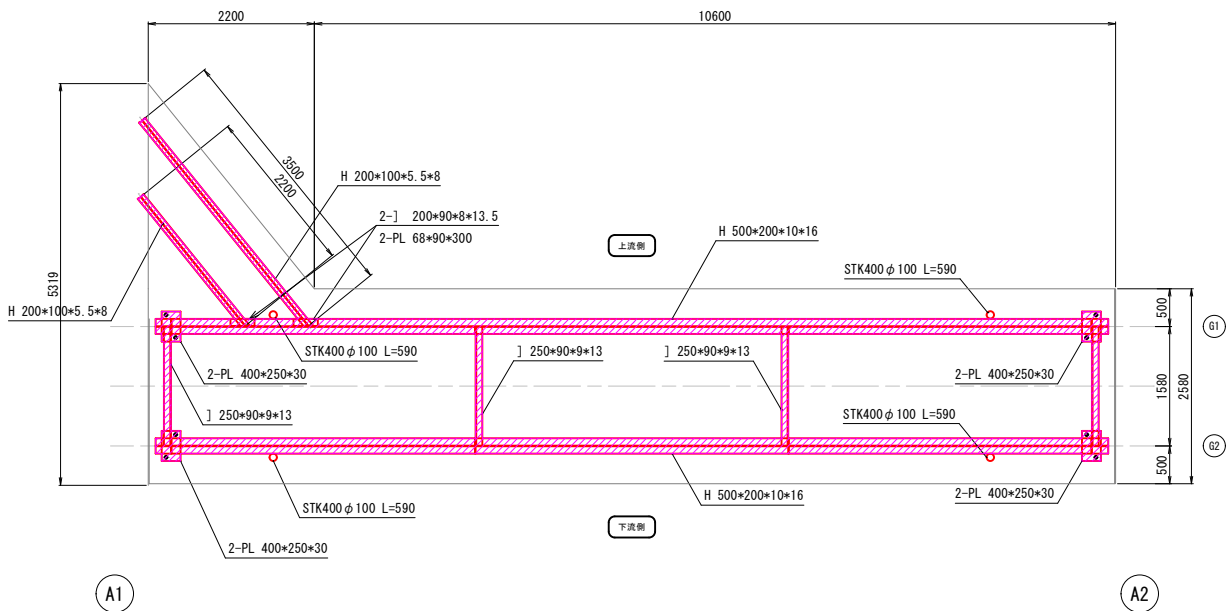
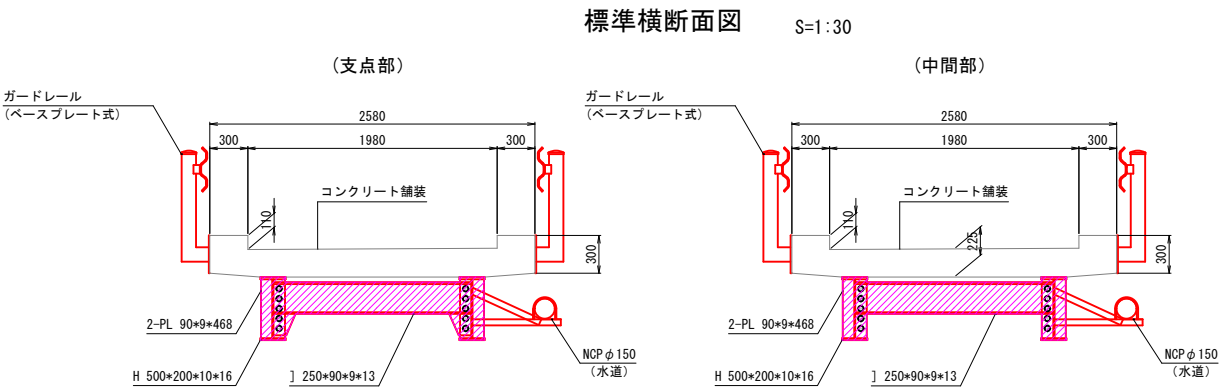
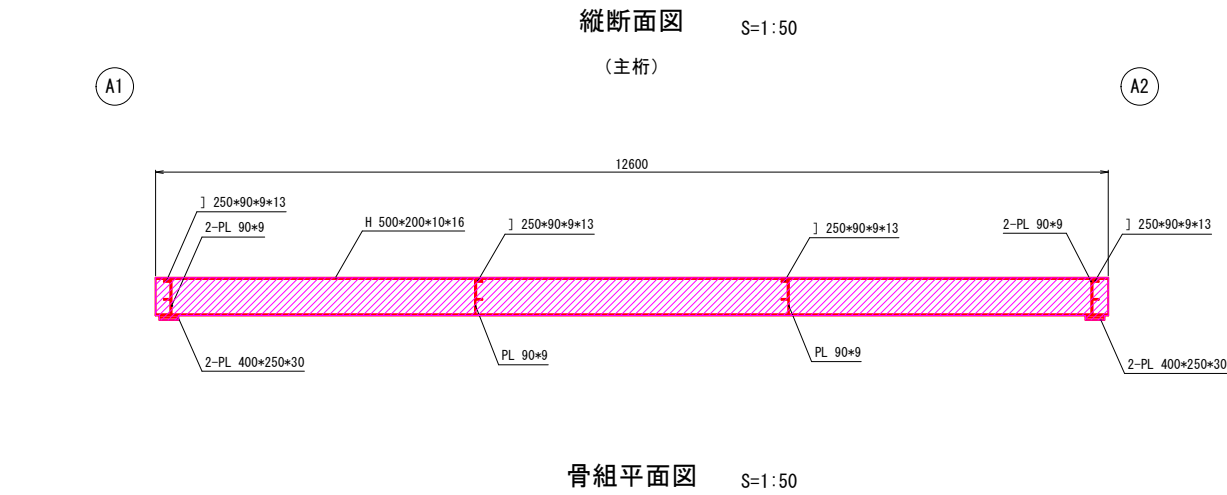
損 傷	記 号	補 修 対 策
ひびわれ (0.2~0.5mm) 図中の数値は長さ (m) を示す。		ひびわれ注入工
ひびわれ (0.5~1.0mm) 図中の数値は長さ (m) を示す。		
ひびわれ (1.0~2.0mm) 図中の数値は長さ (m) を示す。		
ひびわれ (2.0~5.0mm) 図中の数値は長さ (m) を示す。		ひびわれ充填工
ひびわれ (5.0mm以上) 図中の数値は長さ (m) を示す。		
浮き・剥離 図中の数値は面積 (m ²) と幅×高さ (m) を示す。		断面修復工 (A)
剥落・鉄筋露出 図中の数値は面積 (m ²) と幅×高さ (m) を示す。		
変形・欠損 図中の数値は面積 (m ²) と幅×高さ (m) を示す。		断面修復工 (B)
豆 板 図中の数値は面積 (m ²) と幅×高さ (m) を示す。		
変色・劣化 図中の数値は面積 (m ²) と幅×高さ (m) を示す。		
		表面含浸工
		水切り設置工

図面番号	1-5	縮尺	図 示
工 種	橋梁補修工事		
種 別	長谷47号線 1号橋梁 補修図 (2)	番 号	
路 線 名	市道 長谷47 号線		
工事箇所	三原市 長谷		
三 原 市			

補修図(2)

上部工(鋼部材)

注記) 施工に当たっては現地計測の上 施工数量を決定の事
ボルトのゆるみ・脱落箇所は締直しや設置を行う事



補修工法凡例		
損 傷	記 号	補修対策
防食機能の劣化及び腐食		塗替え塗装工

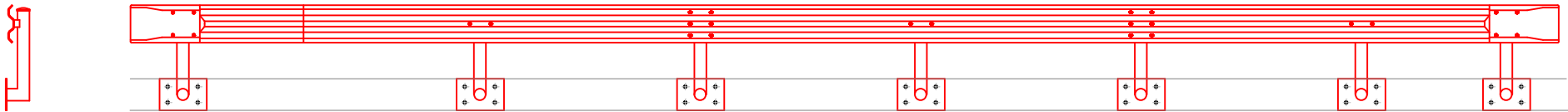
図面番号	1-6		縮尺	図 示
工 種	橋梁補修工事			
種 別	長谷47号線 1号橋梁 補修図 (3)		番 号	
路 線 名	市道 長谷47 号線			
工事箇所	三原市 長谷			
三 原 市				

補修図 (3)

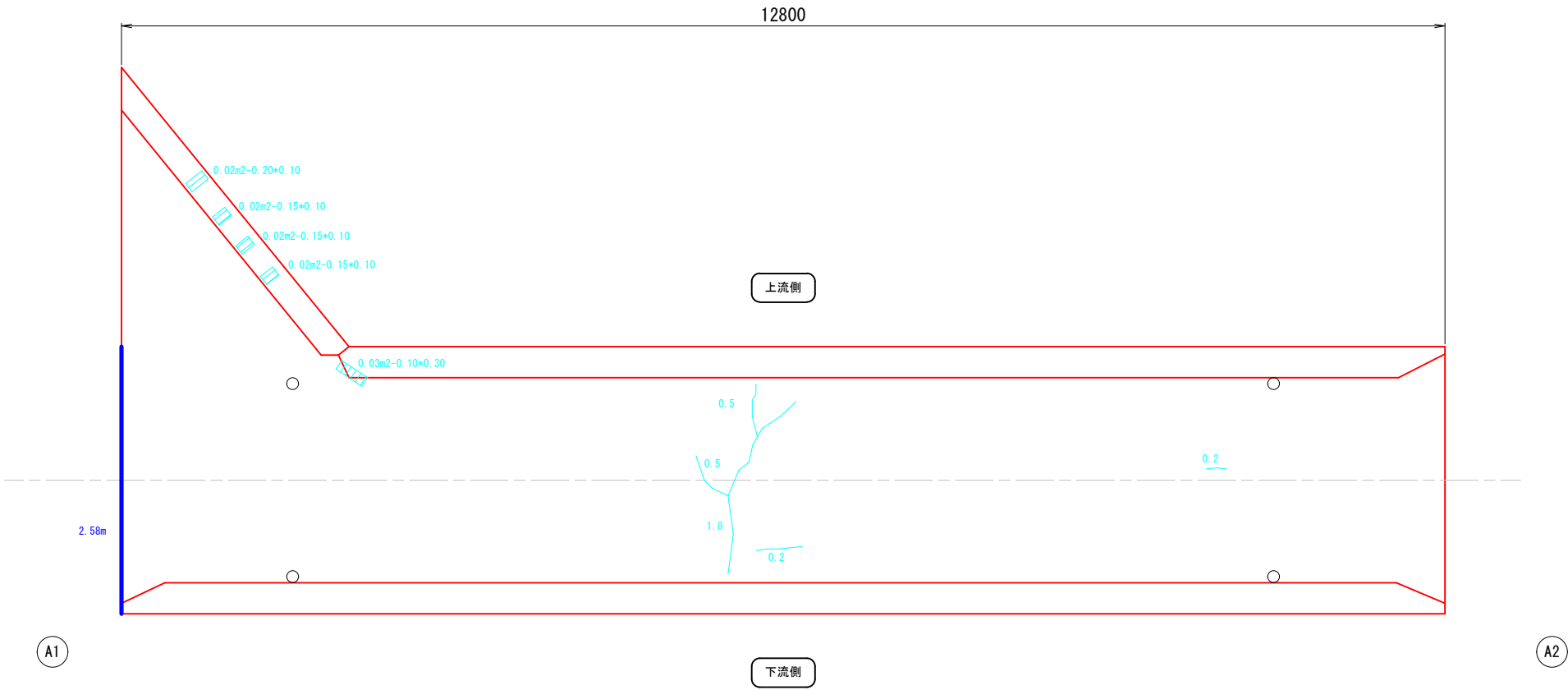
(路面)

注記) 施工に当っては現地計測の上 施工数量を決定の事
ボルトのゆるみ・脱落箇所は締直しや設置を行う事

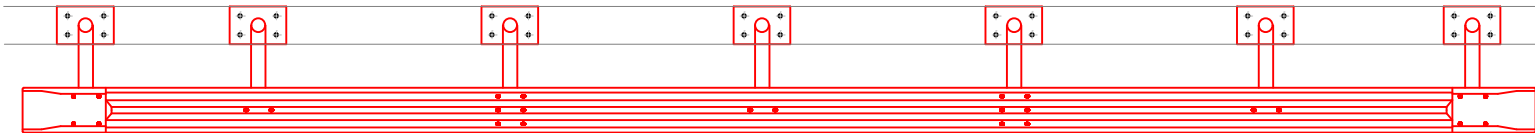
左側高欄正面図 S=1:30



平面図 S=1:30



右側高欄正面図 S=1:30



補修工法凡例

損 傷	記 号	補修対策
コンクリート舗装ひびわれ 5mm以上 図中の数値は長さを示す。(m)	0.8	ひびわれ充填工
剥落・鉄筋露出 図中の数値は面積 (m2) と幅×高さ (m) を示す。	0.08m2-0.40*0.20	断面修復工 (A)
目地材の剥落及び桁下への漏水 図中の数値は長さを示す。(m)	0.08m	伸縮部補修工

図面番号	1-7		縮尺	図 示	
工 種	橋梁補修工事				
種 別	長谷47号線 1号橋梁 補修図 (4)			番 号	
路 線 河 川 名	市道 長谷47 号線				
工事箇所	三原市 長谷				
三 原 市					

注記) 施工に当っては現地計測の上 施工数量を決定の事

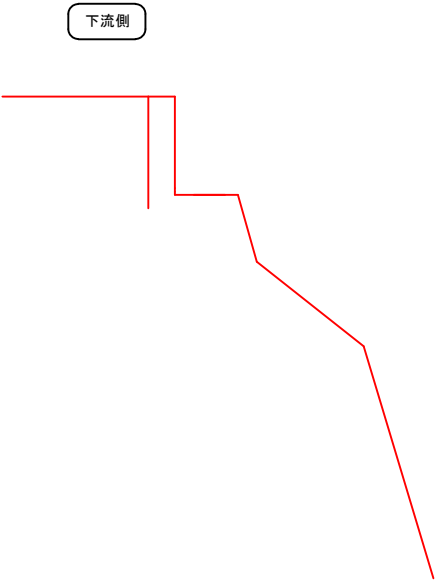
補修図 (4)

(下部工)

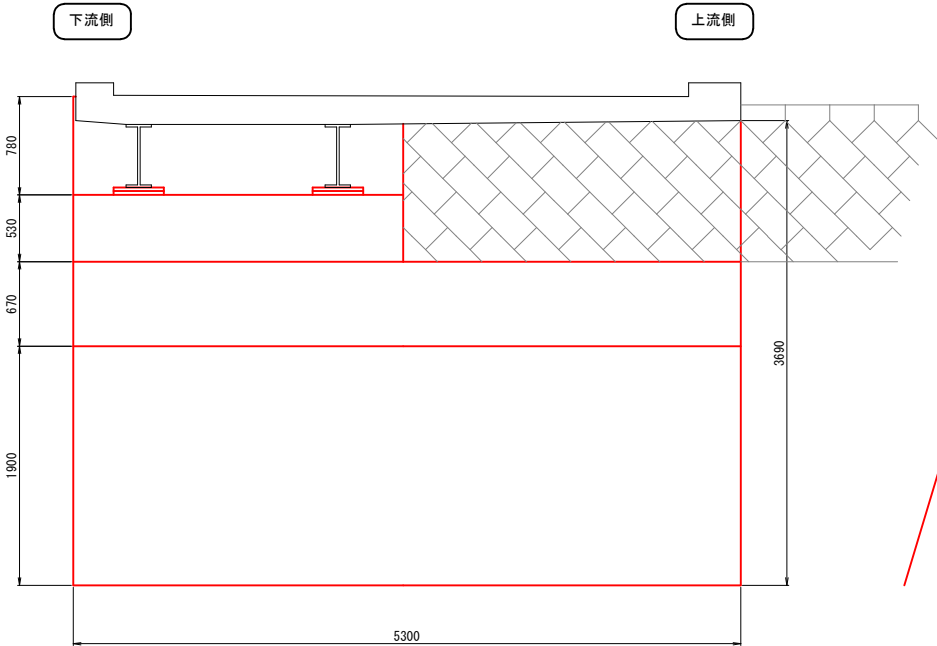
A1橋台沓座平面図 S=1:30



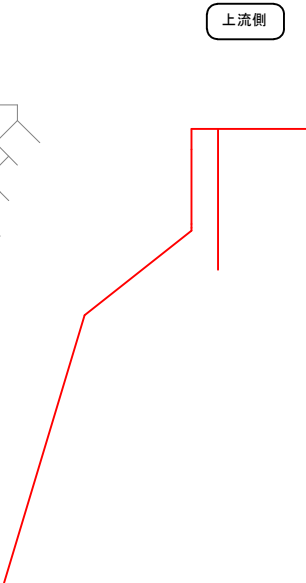
A1橋台側面図 S=1:30



A1橋台正面図 S=1:30



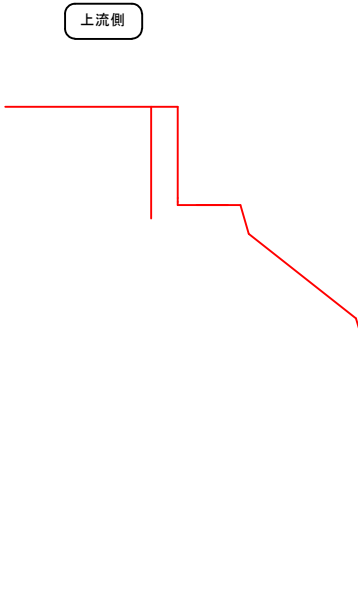
A1橋台側面図 S=1:30



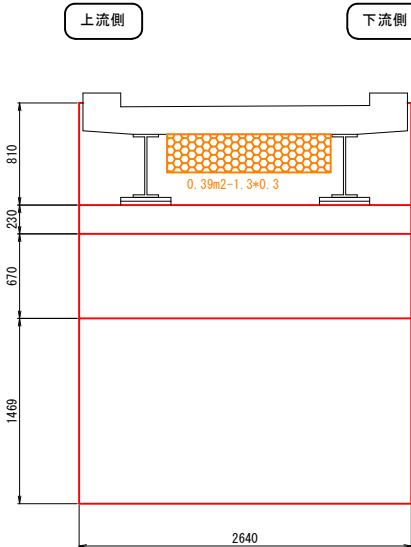
A2橋台沓座平面図 S=1:30



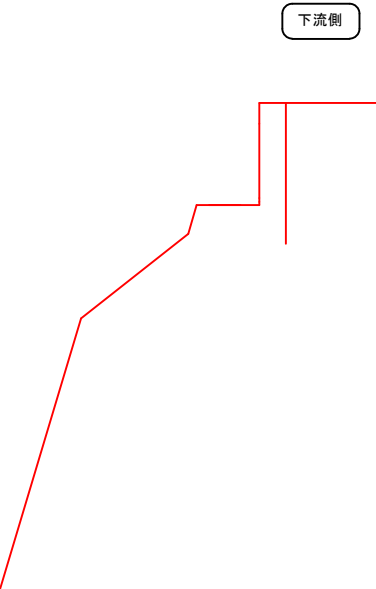
A2橋台側面図 S=1:30



A2橋台正面図 S=1:30



A2橋台側面図 S=1:30



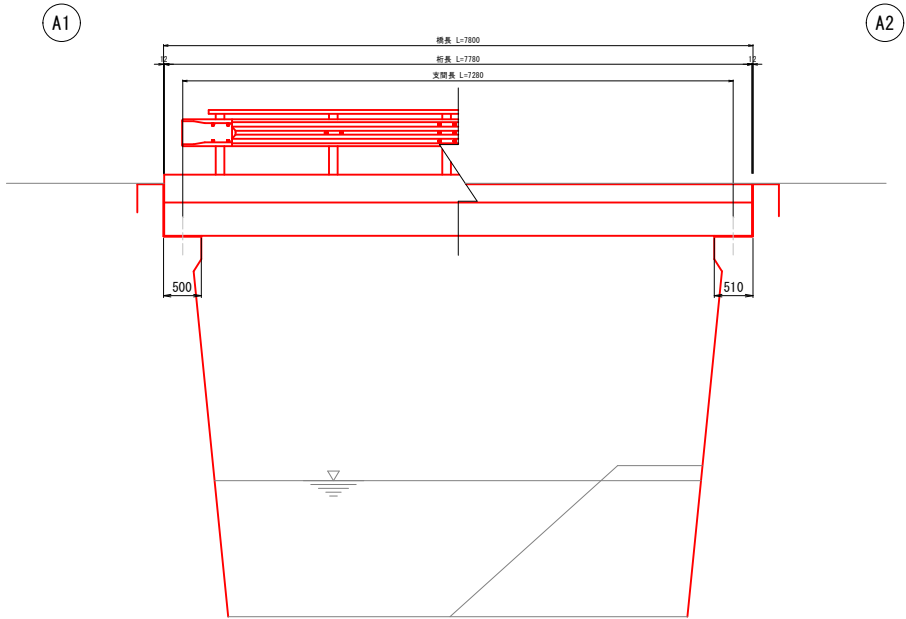
補修工法凡例

損 傷	記 号	補修対策
変形・欠損 図中の数値は面積 (m2) と幅×高さ (m) を示す。	0.08m2-0.40*0.20	断面修復工 (B)
豆 板 図中の数値は面積 (m2) と幅×高さ (m) を示す。	0.08m2-0.40*0.20	

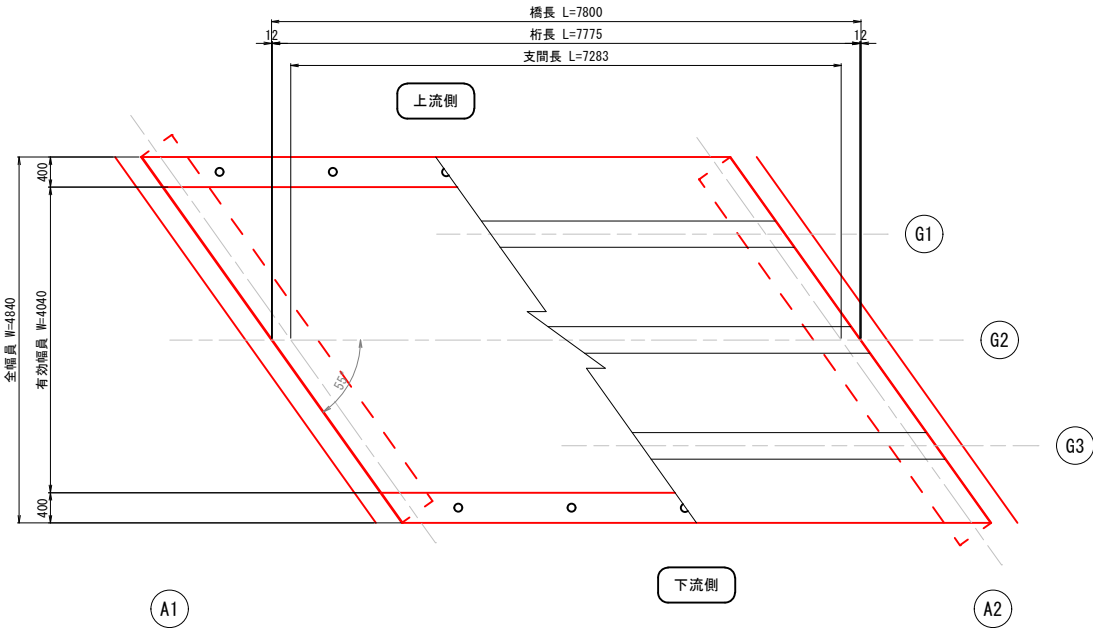
図面番号	2-1		縮尺	図 示	
工 種	橋梁補修工事				
種 別	高坂47号線 1号橋梁 全体一般図			番 号	
路 線 名	市道 高坂47 号線				
工事箇所	三原市 高坂町				
三 原 市					

全体一般図

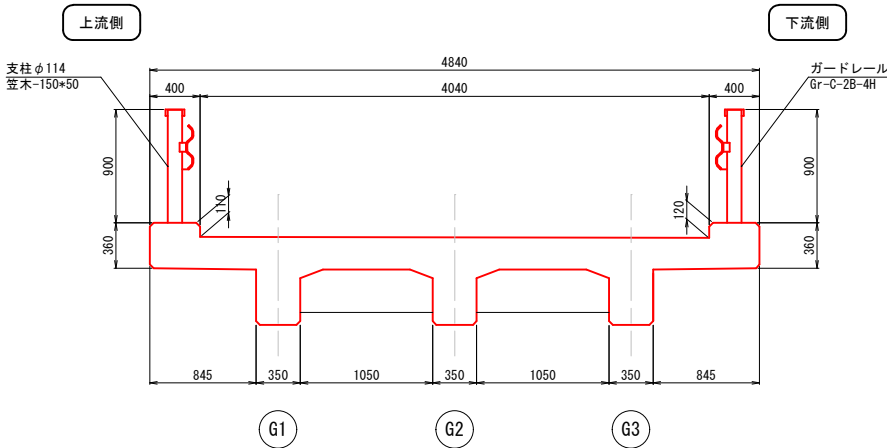
側面図 S=1:50



平面図 S=1:50



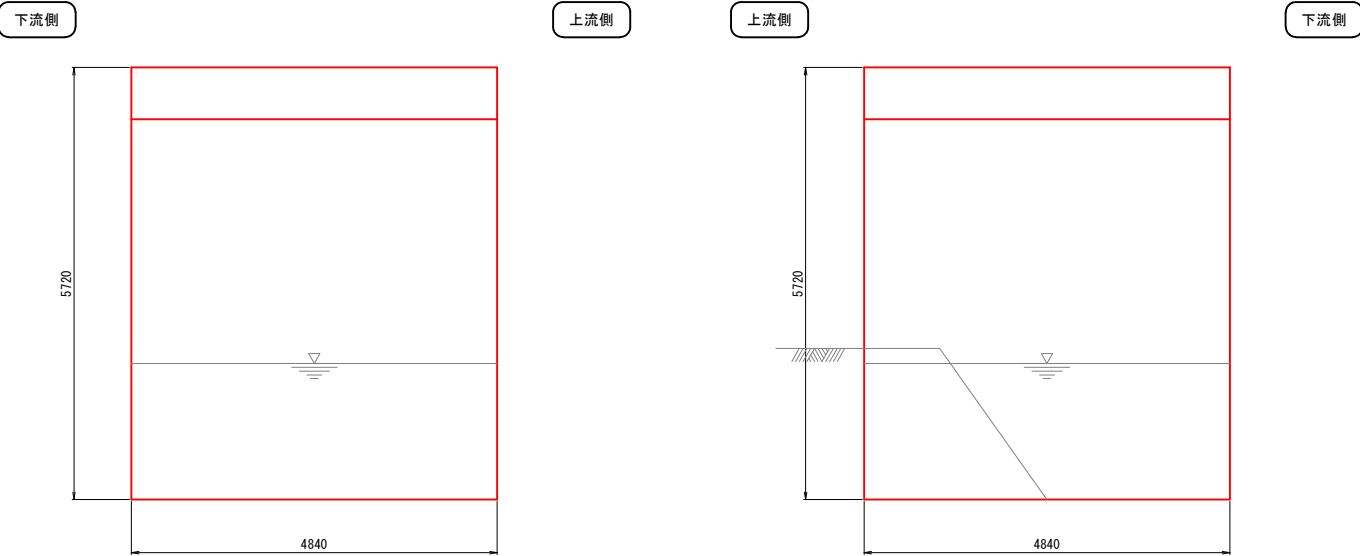
標準断面図 S=1:30



下部工正面図 S=1:50

A1橋台

A2橋台



設計条件	単位	不明	
橋 梁 形 式	上部工	単純RC-T桁橋	
	下部工	A1橋台	重力式橋台
		A2橋台	重力式橋台
		基 礎	直接基礎
橋 長	m	7.80	
桁 長	m	7.78	
支 間 長	m	7.28	
有 効 幅 員	m	4.04	
斜 角	度	55°	
設計水平震度	kh	不明	
使 用 材 料		上部工	$\sigma_{ck}=21\text{N/mm}^2$ (※)
設計基準強度		下部工	$\sigma_{ck}=16\text{N/mm}^2$ (※)
竣工年/(適用示方書)	竣工年: 1950年 / (1949) (※)		

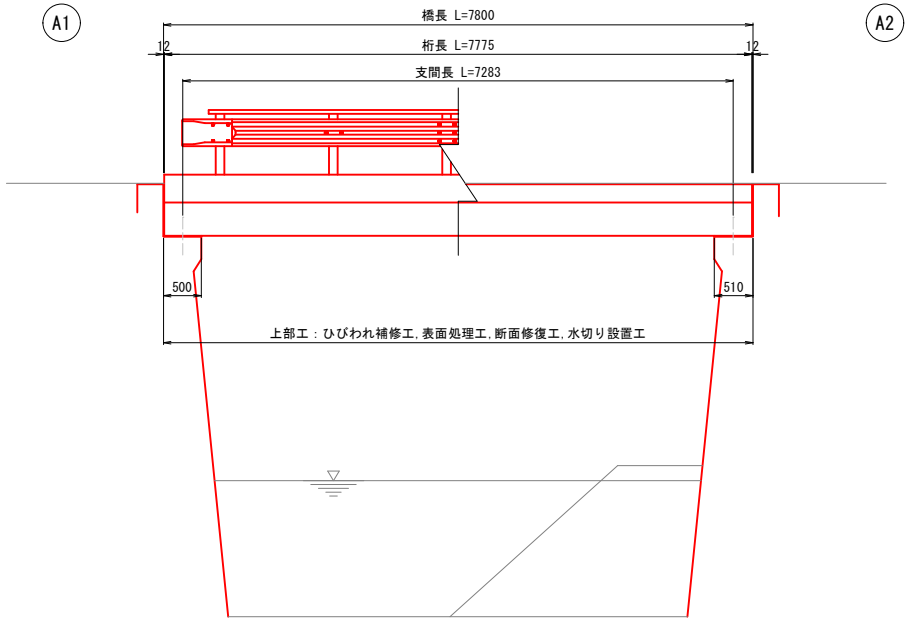
※使用材料、強度は推定。

図面番号	2-2	縮尺	図 示
工 種	橋梁補修工事		
種 別	高坂47号線 1号橋梁 補修一般図	番 号	
路 線 名	市道 高坂47 号線		
工事箇所	三原市 高坂町		
三 原 市			

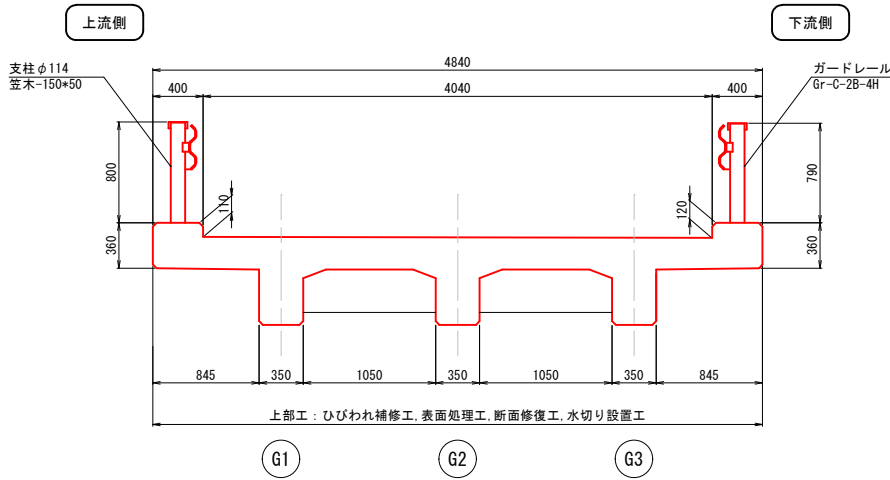
補修一般図

注記）本図面は現地での簡易な計測に基づき作成したものである。
部材寸法は施工前に現地を再確認の上決定のこと。

側 面 図 S=1:50



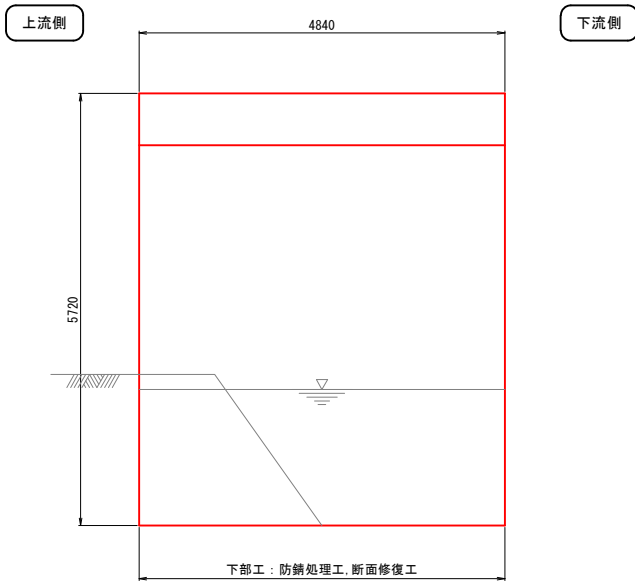
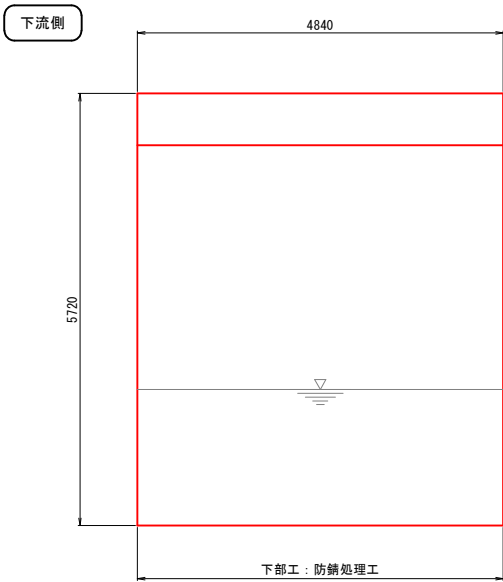
標準断面図 S=1:30



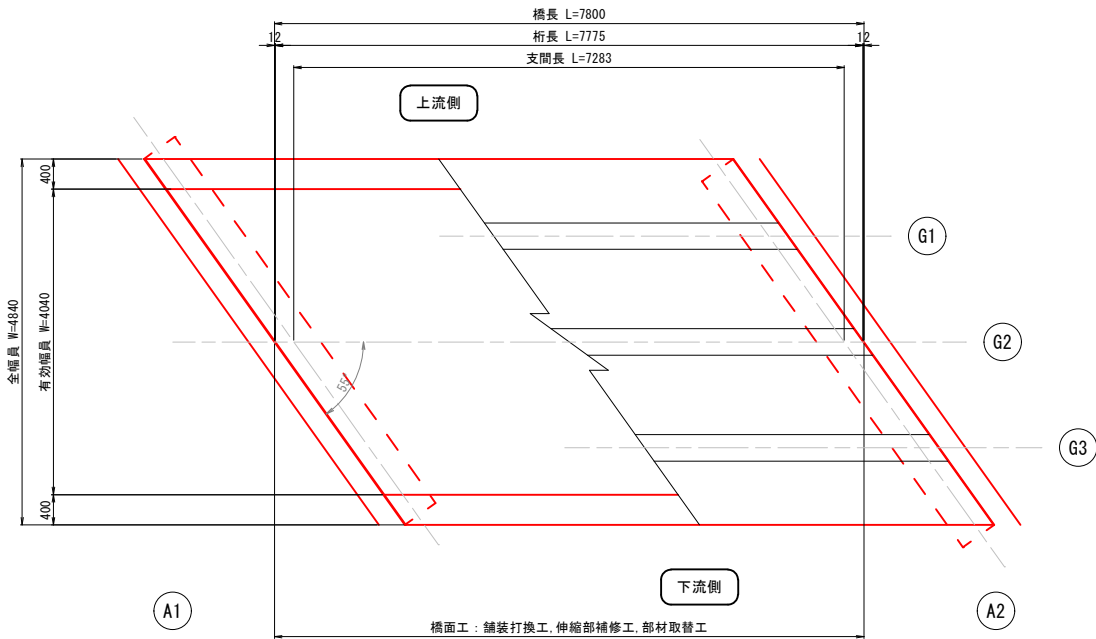
下部工正面図 S=1:50

A1橋台

A2橋台



平 面 図 S=1:50



橋梁補修工一覧表

補 修 工 法	補 修 内 容	対 象 部 材
ひびわれ補修工	ひびわれ注入工 (エポキシ樹脂3種)	床版, 主桁, 横桁
表面処理工	表面含浸工 (けい酸塩系+シラン系混合型)	床版, 主桁, 横桁
水切り設置工	水切り設置	床版 (張出)
断面修復工 A	左官工法 (ポリマーセメントモルタル) 防錆処理を含む	床版, 主桁, 横桁
〃 B	〃 防錆処理を含まない	主桁, 横桁, 橋台
防錆処理工	防錆剤 (常温重油めっき) 塗布	支承
伸縮部補修工	目地注入工 (常温目地材)	伸縮目地
舗装打換工	橋面アスファルト舗装打換え及び接続道路を表層打換え	舗装
部材取替工	ガードレールのレールのみ取替	防護柵

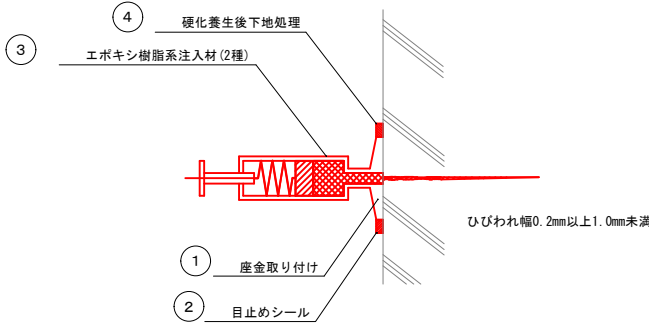
設 計 条 件	単 位	不 明	
橋 梁 形 式	上 部 工	単純RC-T桁橋	
		A1橋台	重力式橋台
	下 部 工	A2橋台	重力式橋台
		基 礎	直接基礎
橋 長	m	7.80	
桁 長	m	7.78	
支 間 長	m	7.28	
有 効 幅 員	m	4.04	
斜 角	度	55°	
設計水平震度	kh	不明	
使 用 材 料	上 部 工	$\sigma_{ck}=21\text{N/mm}^2$ (※)	
	下 部 工	$\sigma_{ck}=16\text{N/mm}^2$ (※)	
竣工年/(適用示方書)	竣工年：1950年/ (1949) (※)		

※使用材料、強度は推定。

図面番号	2-3		縮尺	図 示	
工 種	橋梁補修工事				
種 別	高坂47号線 1号橋梁 全体一般図			番 号	
路 線 名	市道 高坂47 号線				
工事箇所	三原市 高坂町				
三 原 市					

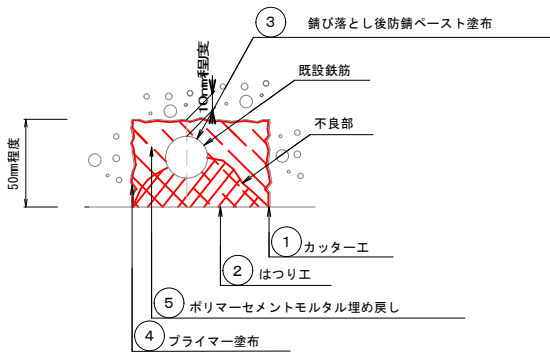
ひびわれ注入工

エポキシ樹脂系注入材 (2種)



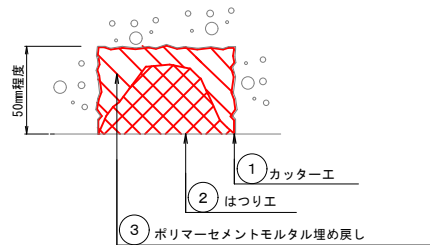
断面修復工A

左官工法 (防錆処理含む)
d = 5 c m



断面修復工B

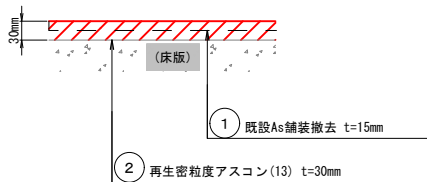
左官工法 (防錆処理含まない)
d = 5 c m



補修詳細図

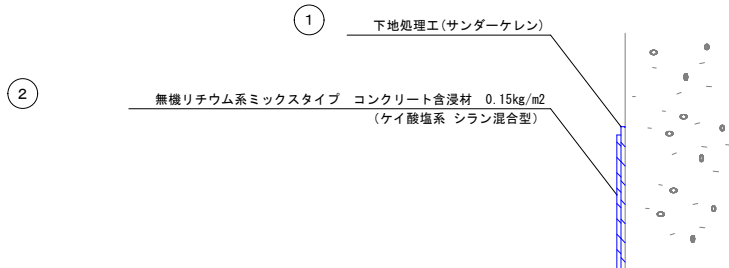
舗装打換工

アスファルト舗装

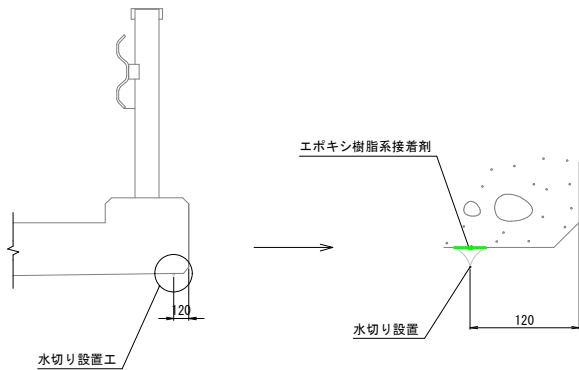


表面処理工

表面含浸工

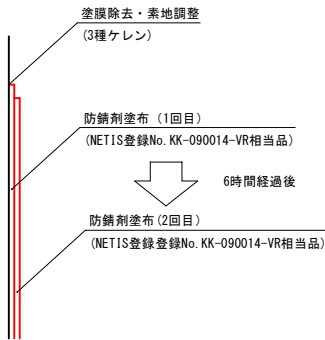


水切り設置工



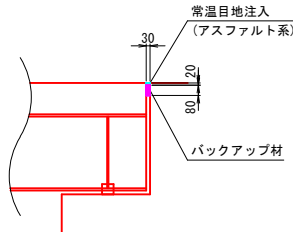
防錆処理工

防錆剤塗布



伸縮部補修工

常温目地材注入



補修工法凡例

損 傷	記 号	補修対策
ひびわれ (0.2~0.5mm) 図中の数値は長さ (m) を示す。		ひびわれ注入工
ひびわれ (0.5~1.0mm) 図中の数値は長さ (m) を示す。		ひびわれ注入工
浮き・剥離 図中の数値は面積 (m2) と幅×高さ (m) を示す。		断面修復工 (A)
剥落・鉄筋露出 図中の数値は面積 (m2) と幅×高さ (m) を示す。		断面修復工 (A)
変形・欠損 図中の数値は面積 (m2) と幅×高さ (m) を示す。		断面修復工 (B)
豆 板 図中の数値は面積 (m2) と幅×高さ (m) を示す。		断面修復工 (B)
		表面含浸工
		水切り設置工
		伸縮部補修工
防食機能の劣化及び腐食		防錆処理工
アスファルト舗装ひびわれ 5mm以上 図中の数値は長さ (m) を示す。		舗装打換工
路面の段差 図中の数値は延長 (m) と深さ (mm) を示す。		舗装打換工
変形・欠損 図中の数値は面積 (m2) と幅×高さ (m) を示す。		部材取替工

図面番号	2-4	縮尺	図 示
工 種	橋梁補修工事		
種 別	高坂47号線 1号橋梁 補修図 (1)	番 号	
路 線 名	市道 高坂47 号線		
工事箇所	三原市 高坂町		
三 原 市			

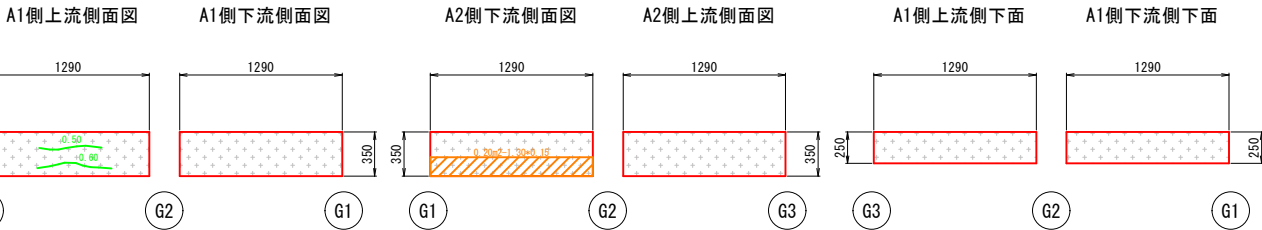
補修図(1)

注記) 施工に当っては現地計測の上 施工数量を決定の事

(上部工)

左側地覆展開図 S=1:30

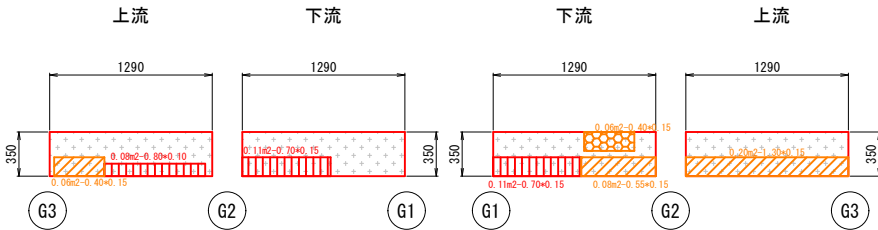
中間横桁



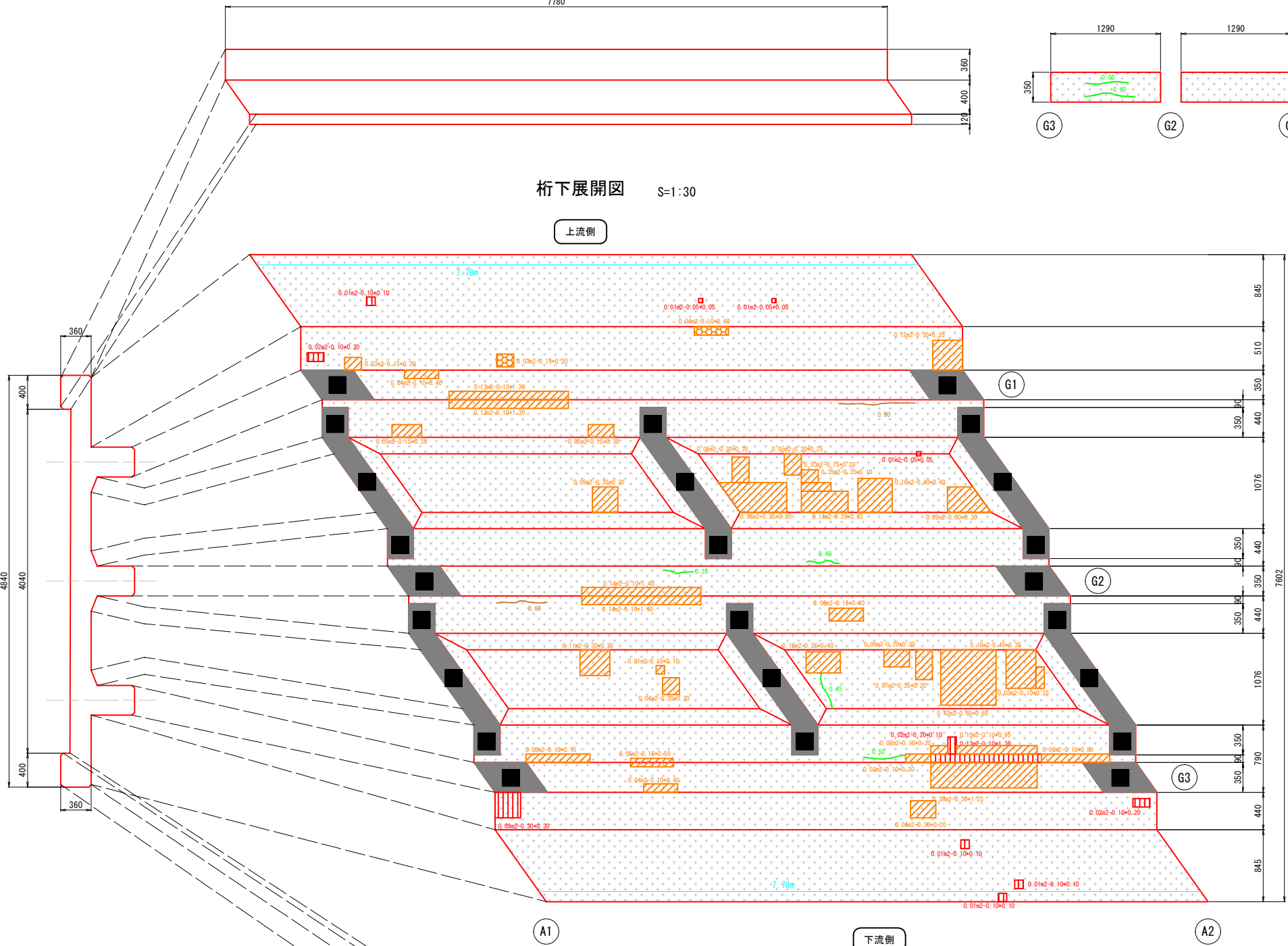
桁下展開図 S=1:30

A2端横桁

A1端横桁



横断面図



右側地覆展開図 S=1:30

数量表(表面含浸工)

名 称	寸 法 (算 式)	部材数	面 積 (m ²)
桁下面	7.602 × 7.780	1	59.14
横桁側面	1.290 × 0.350	6	2.71
横桁下面	1.290 × 0.250	2	0.65
1	-0.350 × 0.626	3	-0.66
2	-0.350 × 0.307	12	-1.29
3	-1.076 × 0.307	6	-1.98
4	-0.350 × 0.614	3	-0.64
合計			57.93

補修工法凡例

損 傷	記 号	補修対策
ひびわれ(0.2~0.5mm) 図中の数値は長さ(m)を示す。	0.60	ひびわれ注入工
ひびわれ(0.5~1.0mm) 図中の数値は長さ(m)を示す。	0.60	
浮き・剥離 図中の数値は面積(m2)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m2-0.40×0.20	断面修復工(A)
剥落・鉄筋露出 図中の数値は面積(m2)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m2-0.40×0.20	断面修復工(A)
変形・欠損 図中の数値は面積(m2)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m2-0.40×0.20	断面修復工(B)
豆 板 図中の数値は面積(m2)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m2-0.40×0.20	断面修復工(B)
	0.08m2-0.40×0.20	表面含浸工
	0.08m	水切り設置工

図面番号	2-5	縮尺	図 示
工 種	橋梁補修工事		
種 別	高坂47号線 1号橋梁	番 号	
路 線 名	補修図 (2)		
工事箇所	市道 高坂47 号線		
工事箇所	三原市 高坂町		
三 原 市			

補修図(2)

注記) 施工に当っては現地計測の上 施工数量を決定の事

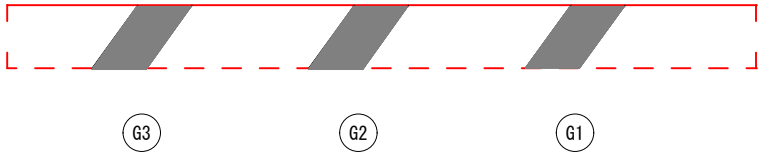
(下部工)

沓座平面図 S=1:30

下流側

A1橋台

上流側

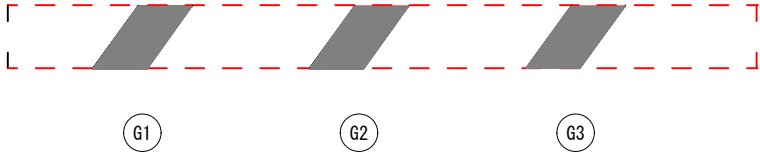


沓座平面図 S=1:30

下流側

A2橋台

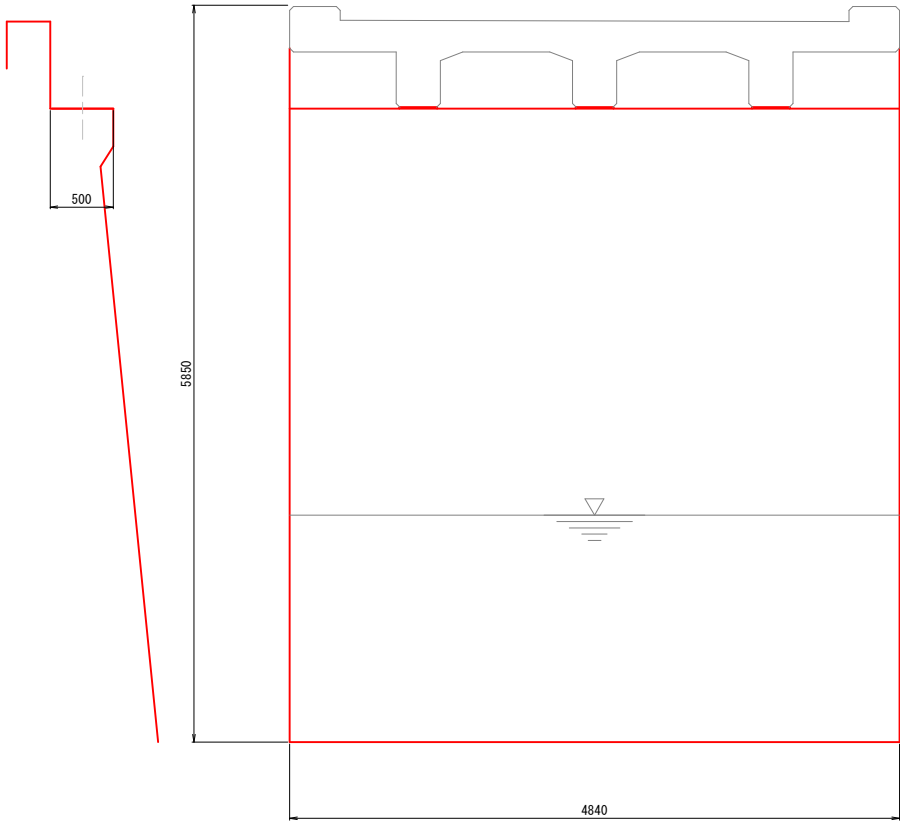
上流側



下部工側面図 S=1:30

下流側

A1橋台



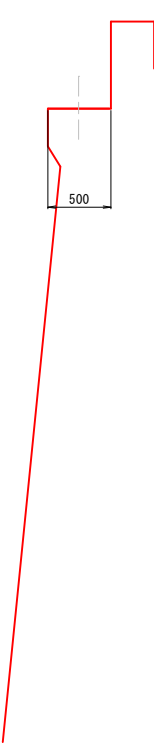
下部工正面図 S=1:30

A1橋台

下部工側面図 S=1:30

上流側

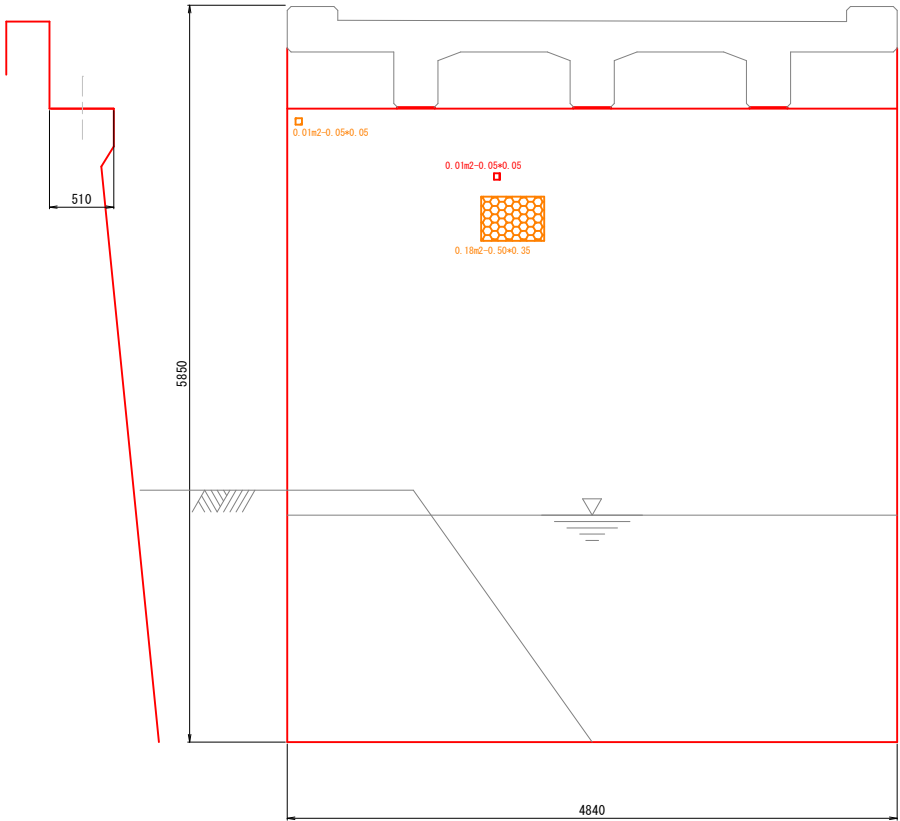
A1橋台



下部工側面図 S=1:30

上流側

A2橋台



下部工正面図 S=1:30

A2橋台

下部工側面図 S=1:30

下流側

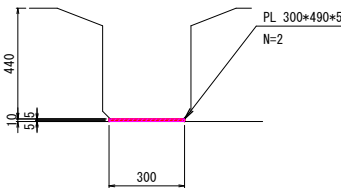
A2橋台



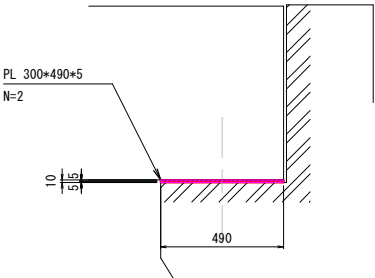
支承詳細図 S=1:15

鋼製支承

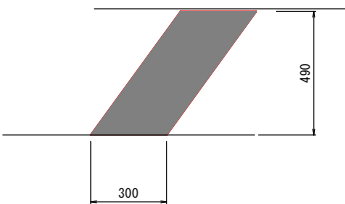
軸直角方向断面図



軸方向断面図



平面図



補修工法凡例

損 傷	記 号	補修対策
浮き・剥離 図中の数値は面積 (m2) と幅×高さ (m) を示す。	0.08m2-0.40*0.20	断面修復工 (A)
剥落・鉄筋露出 図中の数値は面積 (m2) と幅×高さ (m) を示す。	0.08m2-0.40*0.20	
変形・欠損 図中の数値は面積 (m2) と幅×高さ (m) を示す。	0.08m2-0.40*0.20	断面修復工 (B)
豆 板 図中の数値は面積 (m2) と幅×高さ (m) を示す。	0.08m2-0.40*0.20	
防食機能の劣化及び腐食		防錆処理工

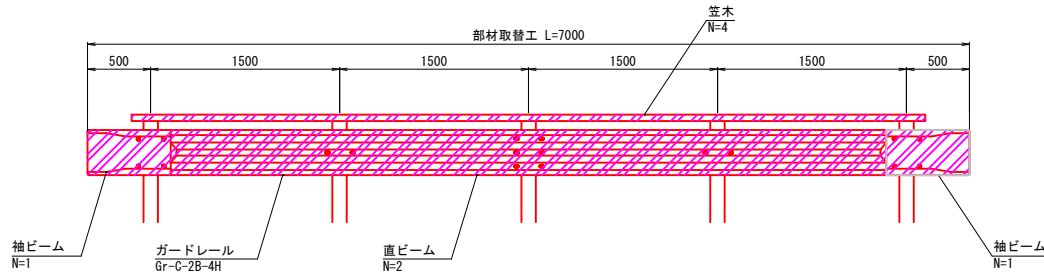
図面番号	2-6	縮尺	図 示
工 種	橋梁補修工事		
種 別	高坂47号線 1号橋梁 補修図 (3)	番 号	
路 線 名	市道 高坂47 号線		
工事箇所	三原市 高坂町		
三 原 市			

補修図 (3)

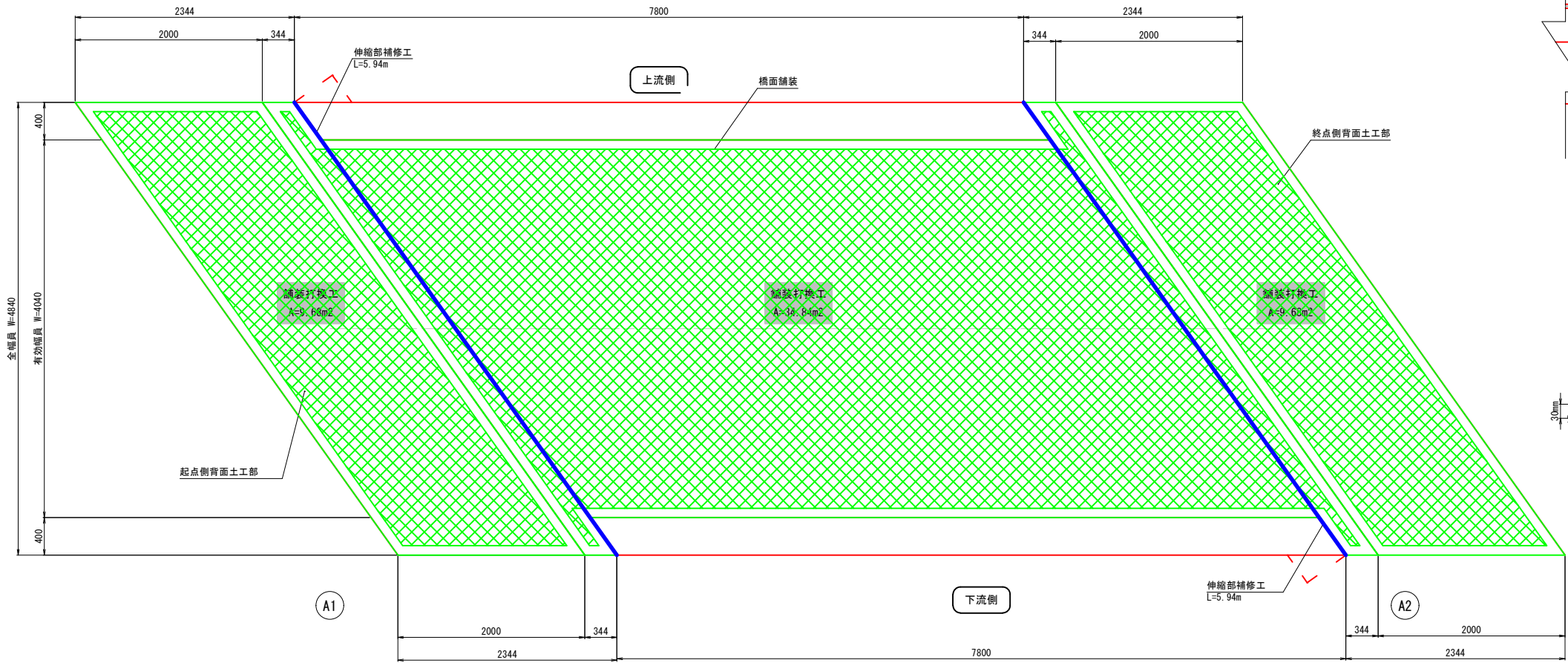
(路面)

注記) 施工に当っては現地計測の上 施工数量を決定の事
ボルトのゆるみ・脱落箇所は締直しや設置を行う事

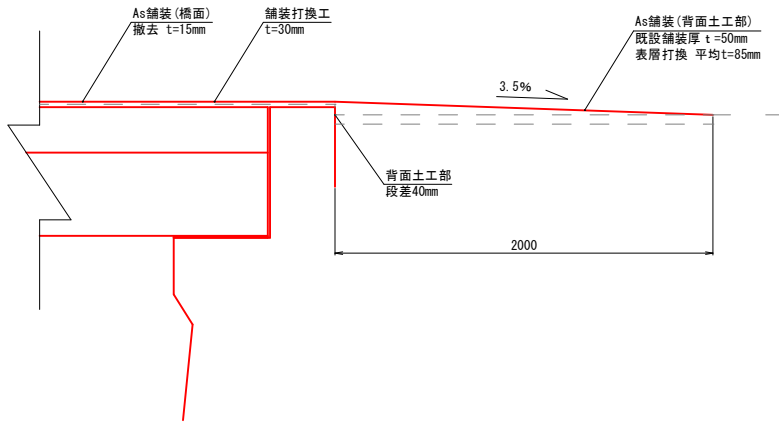
左側防護柵正面図 S=1:30



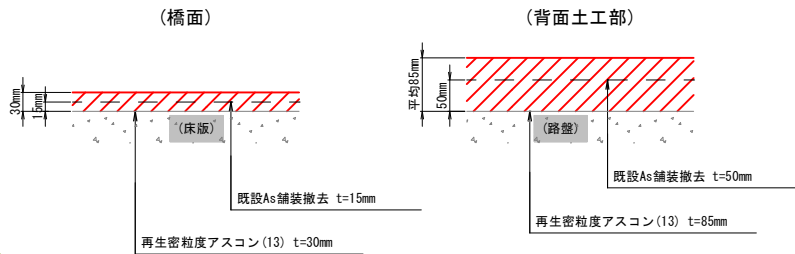
平面図 S=1:30



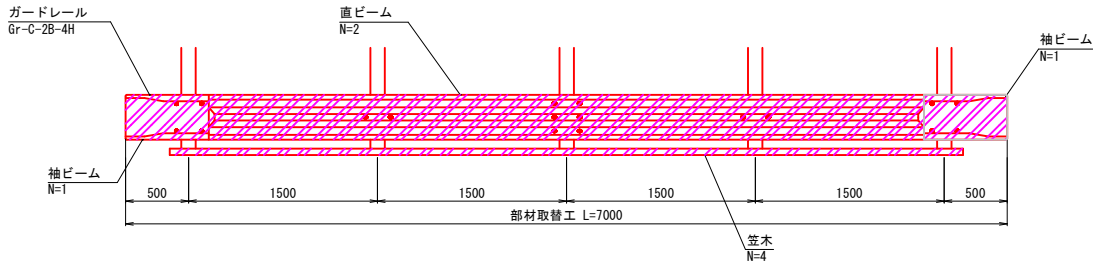
舗装打換工断面図 S=1:20



舗装打換工詳細図 S=nonscale



右側防護柵正面図 S=1:30



補修工法凡例

損 傷	記 号	補修対策
防食機能の劣化及び腐食		部材取替工
アスファルト舗装ひびわれ 5mm以上 路面の段差		舗装打換工
変形・欠損 図中の数値は面積 (m2) と幅×高さ (m) を示す。		部材取替工
		伸縮部補修工

参 考 資 料

— 橋梁補修工事（市道長谷47号線 1 号橋梁外1橋） —

補修橋補修数量総括表

長谷47号線1号橋梁

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	地 覆	鋼 桁	床 版	支 承	畜産モルタル	その他
断面修復工	断面修復工A 左官工法	ポリマーセメントモルタル	平面積	m ²	0.20	－	1.43	－	－	－
			はつり工	m ³	0.010	－	0.072	－	－	－
			断面修復工	m ³	0.010	－	0.072	－	－	－
	断面修復工B 左官工法	ポリマーセメントモルタル	平面積	m ²	0.03	－	0.10	－	0.40	－
			はつり工	m ³	0.002	－	0.005	－	0.020	－
			断面修復工	m ³	0.002	－	0.005	－	0.020	－
	計		断面修復工	m ³						
	殻運搬・処理			m ³	0.012	－	0.077	－	0.020	－
				t	0.028	－	0.18	－	0.05	－
ひびわれ注入工	ポリマーセメント	0.2mm以上～1.0mm未満	延長	m	0.20	－	6.300	－	－	－
ひびわれ充填工	ポリマーセメント	充填材	延長	m	－	－	－	－	－	3.20
表面保護工	表面含浸工	下地処理	面積	m ²	－	－	29.51	－	－	－
		ケイ酸リチウムシラン混合型	面積	m ²	－	－	29.51	－	－	－
水切り設置工	水切り装置	軟質PVC	延長	m	－	－	26.80	－	－	－
維持塗装工	維持塗装工	NKさび安定化防錆工法	面積	m ²	－	51.29	－	0.51	－	0.91
伸縮目地	伸縮目地補修	常温目地材	延長	m	－	－	－	－	－	2.58
		バックアップ材	延長	m	－	－	－	－	－	2.58
仮設工	吊足場	桁高 h<1.5m		掛m ²	－	－	－	－	－	35.89

高坂町74号線1号橋梁

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	地 覆	主 桁	床 版	支 承	畜産モルタル	その他
断面修復工	断面修復工A 左官工法	ポリマーセメントモルタル	平面積	m ²	－	2.85	2.32	－	－	0.02
			はつり工	m ³	－	0.143	0.116	－	－	0.001
			断面修復工	m ³	－	0.143	0.116	－	－	0.001
	断面修復工B 左官工法	ポリマーセメントモルタル	平面積	m ²	－	0.13	－	－	－	0.18
			はつり工	m ³	－	0.007	－	－	－	0.009
			断面修復工	m ³	－	0.007	－	－	－	0.009
	計		断面修復工	m ³						
	殻運搬・処理			m ³	－	0.150	－	－	－	0.010
				t	－	0.353	－	－	－	0.024
ひびわれ注入工	エポキシ樹脂	0.2mm以上～1.0mm未満	延長	m	－	3.850	0.450	－	－	－
表面保護工	表面含浸工	下地処理	面積	m ²	－	57.93	－	－	－	－
		ケイ酸リチウムシラン混合型	面積	m ²	－	57.930	－	－	－	－
水切り設置工	水切り装置	軟質PVC	延長	m	－	－	15.560	－	－	－
維持塗装工	防錆処理工	常温亜鉛メッキ	面積	m ²	－	－	－	0.08	－	－
舗装工	舗装版切断工	平均t=50mm	延長	m	－	－	－	－	－	11.89
	舗装版破砕工		面積	m ²	－	－	－	－	－	54.202
	殻運搬・処理			m ³	－	－	－	－	－	0.813
				t	－	－	－	－	－	1.911
	橋面舗装（表層）	密粒度アスコン（13）	面積	m ²	－	－	－	－	－	34.842
	接道舗装（基層）	密粒度アスコン（13）	面積	m ²	－	－	－	－	－	19.360
	接道舗装（表層）	密粒度アスコン（13）	面積	m ²	－	－	－	－	－	19.360
伸縮目地	伸縮目地補修	常温目地材	延長	m	－	－	－	－	－	11.88
		バックアップ材	延長	m	－	－	－	－	－	11.88
防護柵工	部材取替工	ガードレール復旧	延長	m	－	－	－	－	－	14.000
仮設工	吊足場	桁高 h<1.5m		掛m ²	－	－	－	－	－	37.75

合計
1.63
0.082
0.082
0.53
0.027
0.027
0.109
0.109
0.26
6.50
3.20
29.51
29.51
26.80
52.71
2.58
2.58
35.89

合計
5.19
0.260
0.260
0.31
0.016
0.016
0.276
0.16
0.38
4.30
57.93
57.93
15.56
0.08
11.89
54.20
0.81
1.91
34.84
19.36
19.36
11.88
11.88
14.00
37.75

長谷47号線1号橋梁 補修数量計算書

1. 数量総括表

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量		
					上下部工	その他	合 計
橋 梁 工	断面修復工A	修復深さ d＝5cm 防錆処理有 塩害対策工法	ポリマーセメント モルタル 防錆剤 断面修復材	m2	1.6	－	1.6
				m3	0.1	－	0.1
				kg	3.8	－	3.8
				kg	164.9	－	164.9
	断面修復工B	修復深さ d＝5cm 防錆処理無 塩害対策工法	ポリマーセメント モルタル 防錆剤 断面修復材	m2	0.5	－	0.5
				m3	0.03	－	0.03
				kg	0.8	－	0.8
				kg	53.6	－	53.6
	ひびわれ注入 工(ポリマー超 微粒子セメント 系注入材)	0.2mm～ 0.5mm未満	注入材	m	6.3	－	6.3
				kg	0.3	－	0.3
			シール材	kg	1.8	－	1.8
				注入器具	個	25	－
		0.5mm～ 1.0mm未満	注入材	m	0.2	－	0.2
				kg	0.1	－	0.1
			シール材	kg	0.1	－	0.1
				注入器具	個	1	－
	合計		注入材	m	6.5	－	6.5
				kg	0.4	－	0.4
			シール材	kg	1.9	－	1.9
				注入器具	個	26	－
	ひびわれ充填工	ポリマーセメント系	充填材	m	3.2	－	3.2
				kg	1.0	－	1.0
			プライマー	kg	0.03	－	0.03
	表面処理工	下地処理	サンダーケレン	m2	29.5	－	29.5
		けい酸リチウム シラン混合型	0.15kg/m2	m2	29.5	－	29.5
				kg	5.3	－	5.3
	水切設置工		軟質PVC	m	26.8	－	26.8
	塗替え塗装工	清掃・水洗い		m2	52.7	－	52.7
		塗膜除去工	湿式塗膜 剥離剤	m2	52.7	－	52.7
				kg	52.7	－	52.7
		素地調整	3種ケレンA	m2	52.7	－	52.7
		下塗	80g/m2×1	m2	52.7	－	52.7
		下塗	80g/m2×2	m2	52.7	－	52.7
		中塗	100g/m2×1	m2	52.7	－	52.7
		上塗	100g/m2×1	m2	52.7	－	52.7
路 面 工	伸縮目地 補修工	常温目地材	アスファルト系	m	－	2.6	2.6
				m3	－	0.1	0.1
		バックアップ材	樹脂発砲体	m	－	2.6	2.6
				本	－	2	2
仮 設 工	足場工	吊足場		m2	－	35.9	35.9
		床面シート張防護		m2	－	35.9	35.9
		朝顔		m2	－	35.9	35.9
		板張防護		m2	－	35.9	35.9
		シート張防護		m2	－	35.9	35.9
		湿式塗膜剥離剤工用養生設備工		m2	－	35.9	35.9

2.1. 躯体工補修数量

位 置	ひびわれ注工					ひびわれ充填工	断面修復工(ポリマーセメントモルタル) d=5cm							
	0.2mm～0.5mm		0.5mm～1.0mm		1.0mm以上		浮き		鉄筋露出		欠損		豆板	
							防錆処理を含む		防錆処理を含まない					
	m						m2							
床版 下面	1.20	1.30					0.29	0.36	0.70	0.04			0.06	0.04
	1.30	1.20					0.03		0.01					
	1.30													
地覆 左側			0.20						0.09	0.02	0.01			
									0.02	0.02				
									0.02	0.03				
右側													0.02	
A1橋台 沓座											0.01			
A2橋台 沓座													0.39	
路面					0.5	0.5								
					1.8	0.2								
					0.2									
小 計	6.30		0.20		3.2		0.68		0.95		0.02		0.51	

(1) 断面修復工A ポリマーセメントモルタル埋戻し（防錆処理を含む）

・防錆剤（防錆ペースト：塗布厚，密度，ロス率，割増係数はカタログによる）

・断面修復材 (遮塩モルタル:塗布厚はカタログによる)

口ス率 (18%) 土木工事標準積算基準 P487

・防錆剤（防錆ペースト：塗布厚，密度，ロス率，割増係数はカタログによる）

・断面修復材 (遮塩モルタル:塗布厚はカタログによる)

口入率 (18%) 土木工事標準積算基準 P487

2.3 ひびわれ注入工

(1) ポリマー超微粒子セメント系注入材

0.2mm～0.5mm未満	=	6.30	m
0.5mm～1.0mm未満	=	0.20	m

(2) ポリマー超微粒子セメント注入工標準使用量

注記) ・ ひび割れ深さは、ひび割れ幅の200倍を推定した。
 ・ 注入材の密度はカタログ、ロス率は、メーカー聞き取り。
 ・ シール材の密度はカタログ、ロス率は、土木工事標準積算基準 P483。

0.2mm～0.5mm未満

・ 注入材 (ポリマー超微粒子セメント系)

$$\begin{array}{ccccccc} \text{ひび割れ幅 (m)} & \times & \text{深さ (m)} & \times & \text{延長 (m)} & \times & \text{密度 (kg/m}^3\text{)} \times \text{ロス率 (15\%)} \\ 0.00035 & \times & 0.07 & \times & 6.30 & \times & 1580 \times 1.3 = 0.32 \text{ kg} \end{array}$$

・ シール材 シール材 幅75 (mm)、厚み2 (mm)

$$\begin{array}{ccccccc} \text{シール材幅 (m)} & \times & \text{シール材厚 (m)} & \times & \text{延長 (m)} & \times & \text{密度 (kg/m}^3\text{)} \times \text{ロス率 (37\%)} \\ 0.075 & \times & 0.002 & \times & 6.3 & \times & 1360 \times 1.37 = 1.76 \text{ kg} \end{array}$$

・ 注入器具 250 (mm) 間隔

$$6.30 / 0.25 = 25 \text{ 個}$$

0.5mm～1.0mm未満

・ 注入材 (ポリマー超微粒子セメント系)

$$\begin{array}{ccccccc} \text{ひび割れ幅 (m)} & \times & \text{深さ (m)} & \times & \text{延長 (m)} & \times & \text{密度 (kg/m}^3\text{)} \times \text{ロス率 (15\%)} \\ 0.0008 & \times & 0.16 & \times & 0.20 & \times & 1580 \times 1.3 = 0.05 \text{ kg} \end{array}$$

・ シール材 シール材 幅75 (mm)、厚み2 (mm)

$$\begin{array}{ccccccc} \text{シール材幅 (m)} & \times & \text{シール材厚 (m)} & \times & \text{延長 (m)} & \times & \text{密度 (kg/m}^3\text{)} \times \text{ロス率 (37\%)} \\ 0.075 & \times & 0.002 & \times & 0.2 & \times & 1360 \times 1.37 = 0.06 \text{ kg} \end{array}$$

・ 注入器具 250 (mm) 間隔

$$0.200 / 0.25 = 1 \text{ 個}$$

2.3 ひびわれ充填工

(1) ポリマーセメント系

1.0mm以上	=	3.200	m
---------	---	-------	---

(2) ポリマーセメント系充填材標準使用量

注記) ・ 修復幅10mm、深さ15mmとする。
 ・ プライマー及び充填材の密度はカタログ、充填材のロス率は、土木工事標準積算基準 P480。
 プライマーのロス率はメーカー聞き取り

イ) プライマーの使用量

$$\begin{array}{ccccccc} & & \text{深さ} \times 2 & & \text{幅} & & \text{単位面積当たり設計量 (kg/m}^2\text{)} \\ w & = & (0.015 \times 2 + 0.01) & \times & 0.20 & & \\ & & \text{延長} & & \text{ロス率} & & \\ & & \times 3.20 & \times & 1.2 & = & 0.03 \text{ kg} \end{array}$$

ロ) 充填材の使用量

$$\begin{array}{ccccccc} w & = & \text{深さ} & \times & \text{幅} & \times & \text{密度} \\ & & 0.015 & \times & 0.01 & \times & 1800 \\ & & \text{延長} & & \text{ロス率 (20\%)} & & \\ & & \times 3.20 & \times & 1.2 & = & 1.04 \text{ kg} \end{array}$$

表面積

床版下面平面図

上流側

水切り設置工
L=14.0m

10585
10675

2380
2400
500
1300
500

1420
5370

400
1380
400

2380

12185
12770

水切り設置工
L=12.8m

下流側

①
②
A1
A2

名 称	種 別	細別	計 算 式	面数	部材数	面 積
床版	下面	上流側張出	$(10.675 + 10.585) / 2 \times 0.400$	1	1	4.25
		G1-G2	1.380×12.185	1	1	16.82
		下流側張出	0.400×12.770	1	1	5.11
片持ち床版	下面	上流側張出	$(3.355 + 3.495) / 2 \times 0.320$	1	1	1.10
		G1-G2	$(2.030 + 3.155) / 2 \times 0.550$	1	1	1.43
		下流側張出	$(1.420 \times 1.130) / 2$	1	1	0.80
		計				29.51

(3) 水切設置工					
・上流側					
L	=	14.00	=	14.00	m
・下流側					
L	=	12.80	=	12.80	m
			合計	=	26.80 m

2.5. 塗替え塗装工

名 称	種 別	細別	計 算 式	面数	部材数	面 積
主 桁	G1,G2	U.Flг	0.200×12.600 (下面)	1	2	5.04
			0.016×12.600 (板厚)	2	2	0.81
			- 0.010×12.600 (Webとのタッチ面)	1	2	-0.25
		Web	0.468×12.600	2	2	23.59
		L.Flг	0.200×12.600 (上下面)	2	2	10.08
			0.016×12.600 (板厚)	2	2	0.81
			- 0.010×12.600 (Webとのタッチ面)	1	2	-0.25
副 桁	G1	U.Flг	0.200×3.500 (下面)	1	1	0.70
			0.008×3.500 (板厚)	2	1	0.06
			- 0.006×3.500 (Webとのタッチ面)	1	1	-0.02
		Web	0.184×3.500	2	1	1.29
		L.Flг	0.200×3.500 (上下面)	2	1	1.40
			0.008×3.500 (板厚)	2	1	0.06
			- 0.006×3.500 (Webとのタッチ面)	1	1	-0.02
	G2	U.Flг	0.200×2.200 (下面)	1	1	0.44
			0.008×2.200 (板厚)	2	1	0.04
			- 0.006×2.200 (Webとのタッチ面)	1	1	-0.01
		Web	0.184×2.200	2	1	0.81
		L.Flг	0.200×2.200 (上下面)	2	1	0.88
			0.008×2.200 (板厚)	2	1	0.04
			- 0.006×2.200 (Webとのタッチ面)	1	1	-0.01
支点横桁		] -250*90	$(0.250 \times 2 + 0.090 \times 4) \times 1.570$	1	2	2.70
		ブレース	$(0.175 + 0.100) / 2 \times 0.170$	2	4	0.02
			- 0.420×0.090 (垂直補鋼材とのタッチ面)	2	4	-0.30
	垂直補剛材	PL	0.090×0.468	2	8	0.67
			- 0.420×0.090 (]-250*90とのタッチ面)	1	4	-0.15
中間横桁		] -250*90	$(0.250 \times 2 + 0.090 \times 4) \times 1.570$	1	2	2.70
			- 0.250×0.090 (垂直補鋼材とのタッチ面)	1	4	-0.09
	垂直補剛材	PL	0.090×0.468	2	4	0.34
			- 0.250×0.090 (]-250*90とのタッチ面)	1	4	-0.09
支承	平面		0.400×0.250	1	4	0.40
			- 0.250×0.200 (L.Flгとのタッチ面)	1	4	-0.20
	側面		0.400×0.060	2	4	0.19
			0.250×0.060	2	4	0.12
排水管	呼び径φ100	φ114.3	$(2 \times \pi \times 0.06) \times 0.59$	1	4	0.89
排水柵			0.006 (CAD測定より)	1	4	0.02
		計				52.71

(1) 清掃・水洗し

$$A = 52.71 = 52.71 \text{ m}^2$$

(2) 塗膜除去工 (湿式塗膜剥離剤工法)

$$A = 52.71 \times 1 \text{ 回塗り} = 52.71 \text{ m}^2$$

・湿式塗膜剥離剤(標準塗布量: 1.0kg/m² ロス率6%)

$$w1 = 52.71 \times 1.0 = 52.71 \text{ kg}$$

$$w2 = 52.71 \times 0.06 = 3.16 \text{ kg}$$

$$W = \text{ロス率含む} \Sigma = 55.87 \text{ kg}$$

・塗膜かす(塗膜剥離剤 1.0kg/m², 旧塗膜 0.3kg/m²と仮定)

$$W = 52.71 \times 0.3 + 55.87 = 71.68 \text{ kg}$$

$$= 0.07 \text{ t}$$

(3) 素地調整 (3種ケレンA)

$$A = 52.71 = 52.71 \text{ m}^2$$

(4) 下塗 (標準塗布量 : 0.08kg/m²)

$$A = 52.71 = 52.71 \text{ m}^2$$

(5) 下塗 (標準塗布量 : 0.08kg/m²)

$$A = 52.71 = 52.71 \text{ m}^2$$

(6) 中塗 (標準塗布量 : 0.10kg/m²)

$$A = 52.71 = 52.71 \text{ m}^2$$

(7) 上塗 (標準塗布量 : 0.10kg/m²)

$$A = 52.71 = 52.71 \text{ m}^2$$

2.6. 伸縮目地補修工

(1) 常温目地材（アスファルト系 比重 1.0 ）

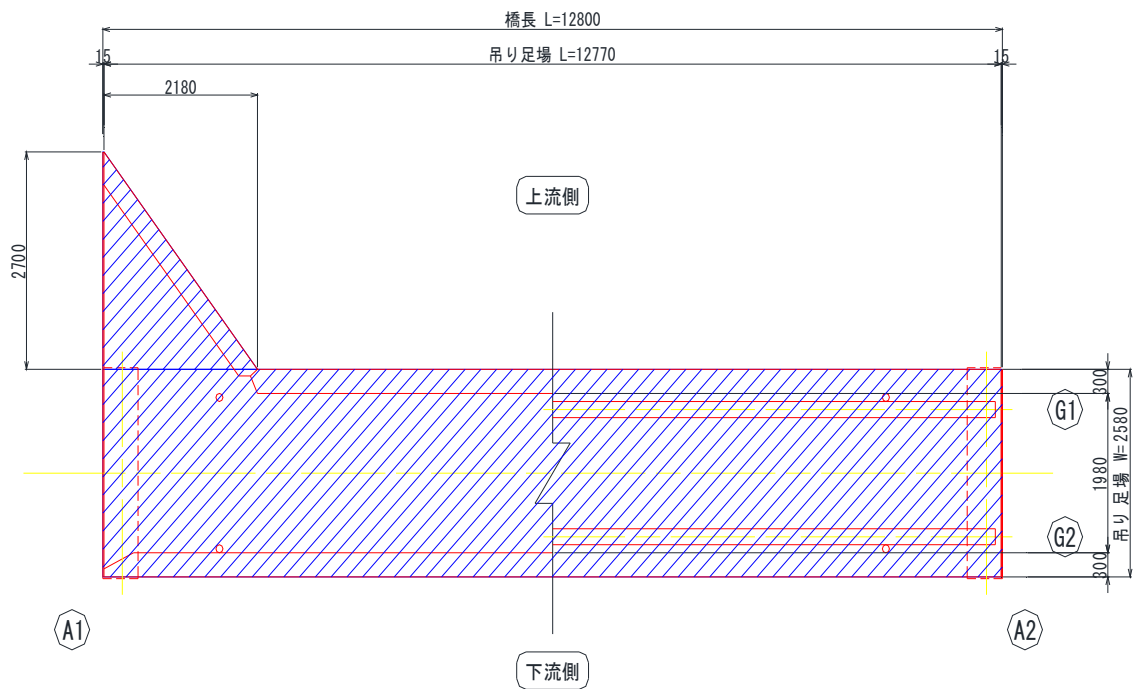
L	=	2.58			=	2.58	m
V	=	2.58	×	0.03	=	0.08	m3
W	=	0.080	×	1.0	=	0.08	kg

(2) バックアップ材

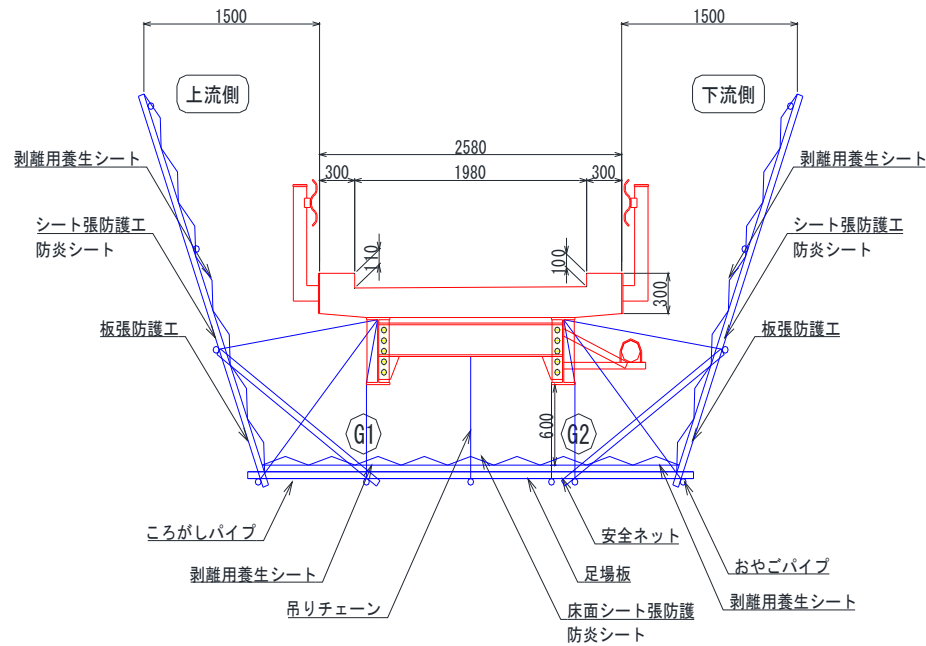
L	=	2.58			=	2.58	m
N	=	2.58	/	2	=	2	本

2.7.仮設工(吊足場)

平面図



標準断面図



仮設足場数量表

種 類		寸 法 (m)	面積 (m2)
		全幅員(地覆外縁間距離)×橋長又は必要長	
TYPEA1	吊り足場(桁高h<1.5m)	$2.58 \times 12.77 + (2.70 \times 2.18) / 2$	35.89
	床面シート張防護設置	"	35.89
TYPEB	朝顔	"	35.89
	板張防護工	"	35.89
	シート張防護工	"	35.89
湿式塗膜剥離剤工用養生設備工		"	35.89

※積算条件は「橋梁架設工事の積算」(一般社団法人 日本建設機械施工協会)を参照

高坂47号線1号橋梁 補修数量計算書

1. 数量総括表

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量		
					上下部工	その他	合 計
橋 梁 工	断面修復工A	修復深さ d=5cm 防錆処理有	ポリマーセメント モルタル	m2	5.2	-	5.2
				m3	0.3	-	0.3
				kg	455.0	-	455.0
	断面修復工B	修復深さ d=5cm 防錆処理無	ポリマーセメント モルタル	m2	0.3	-	0.3
				m3	0.02	-	0.02
				kg	35.0	-	35.0
	ひびわれ注入 工(エポキシ樹 脂 注入材)	0.2mm～ 0.5mm未満	注入材3種	m	2.8	-	2.8
			シール材	kg	0.1	-	0.1
			注入器具	個	11	-	11
		0.5mm～ 1.0mm未満	注入材3種	m	1.5	-	1.5
			シール材	kg	0.4	-	0.4
			シール材	kg	0.4	-	0.4
			注入器具	個	6	-	6
		合計	注入材3種	m	4.3	-	4.3
			注入材3種	kg	0.5	-	0.5
			シール材	kg	1.2	-	1.2
			注入器具	個	17	-	17
	表面処理工	下地処理	サンダーケレン	m2	57.9	-	57.9
		けい酸リチウム シラン混合型	0.15kg/m2	m2	57.9	-	57.9
				kg	10.4	-	10.4
	水切設置工		軟質PVC	m	15.6	-	15.6
	防錆処理工	素地調整	3種ケレンA	m2	0.1	-	0.1
		防錆剤塗布	常温亜鉛めっき塗料	m2	0.1	-	0.1
路 面 工	舗装版切断工	アスファルト舗装	平均t=50mm	m	-	11.9	11.9
	舗装版破碎工	アスファルト舗装		m2	-	54.2	54.2
	殻運搬	アスファルト殻		m3	-	0.8	0.8
	殻処分	アスファルト殻		t	-	1.9	1.9
	アスファルト舗装工	密粒度アスコン(13)	橋面舗装 表層	m2	-	34.8	34.8
			接続道路 基層	m2	-	19.4	19.4
			接続道路 表層	m2	-	19.4	19.4
	伸縮目地 補修工	常温目地材	アスファルト系	m	-	11.9	11.9
				m3	-	0.4	0.4
		バックアップ材	樹脂発砲体	m	-	11.9	11.9
				本	-	6	6
	防護柵補修工	部材取替工	ガードレール復旧	m	-	14.0	14.0
			直ビーム	枚	-	4	4
			袖ビーム	枚	-	4	4
			笠木	枚	-	8	8
仮 設 工	足場工	吊足場		m2	-	37.8	37.8
		床面シート張防護		m2	-	37.8	37.8
		朝顔		m2	-	37.8	37.8
		板張防護		m2	-	37.8	37.8
		シート張防護		m2	-	37.8	37.8

2. 補修数量

2.1. 躯体工補修数量

2.1.1. 躯体工補修数量計算

位 置			ひびわれ注入工				ひびわれ充填工	断面修復工(ポリマーセメントモルタル)d=5cm							
			0.2mm～0.5mm		0.5mm～1.0mm		1.0mm以上	浮き		鉄筋露出		欠損		豆板	
								防錆処理を含む				防錆処理を含まない			
m				m2											
床版 G1-G2								0.09	0.06	0.01					
								0.28	0.05						
								0.03	0.35						
								0.14	0.16						
								0.09							
G2-G3			0.45					0.11	0.01						
								0.04	0.10						
								0.06	0.07						
								0.42	0.16						
								0.03							
張出床版 上流側										0.01	0.01				
										0.01					
下流側										0.01	0.01				
										0.01					
横桁 端横桁 A1								0.08	0.20	0.11				0.06	
端横桁 A2								0.06		0.08	0.11				
中間横桁			0.50	0.60				0.20							
主桁 G1					0.90			0.03	0.04	0.02				0.03	0.04
								0.05	0.13						
								0.05	0.13						
								0.12							
G2			0.35	0.40	0.60			0.14	0.14						
								0.06							
G3			0.50					0.08	0.05	0.09	0.02				
								0.04	0.03	0.13	0.02				
								0.02	0.06						
								0.38	0.10						
								0.08							
豎壁 正面								0.01		0.01				0.18	
合 計			2.80		1.50		0.00	4.53		0.66		0.00		0.31	

2.2 断面修復工 修復深さ d=5cm

(1) 断面修復工A ポリマーセメントモルタル埋戻し（防錆処理を含む）

$$\begin{aligned}
 A &= 4.53 + 0.66 = 5.19 \quad \text{m}^2 \\
 V &= 5.19 \times 0.05 = 0.26 \quad \text{m}^3 \\
 &\text{体積 (m}^3\text{)} \times \text{密度 (カタログによる)} \times \text{ロス率} \\
 w &= 0.26 \times 1750 \text{ (kg/m}^3\text{)} \times \text{ロス率} = 455 \quad \text{kg} \\
 \text{断面修復材} &\quad \text{体積 (m}^3\text{)} \\
 &\quad 0.26 = 0.26 \quad \text{m}^3
 \end{aligned}$$

(2) 断面修復工B ポリマーセメントモルタル埋戻し（防錆処理を含まない）

$$\begin{aligned}
 A &= 0.00 + 0.31 = 0.31 \quad \text{m}^2 \\
 V &= 0.31 \times 0.05 = 0.02 \quad \text{m}^3 \\
 &\text{体積 (m}^3\text{)} \times \text{密度 (カタログによる)} \times \text{ロス率} \\
 w &= 0.02 \times 1750 \text{ (kg/m}^3\text{)} \times \text{ロス率} = 35 \quad \text{kg} \\
 \text{断面修復材} &\quad V \text{ (m}^3\text{)} \\
 &\quad 0.02 = 0.02 \quad \text{m}^3
 \end{aligned}$$

2.3 ひびわれ注入工

(1) エポキシ樹脂注入

$$\begin{aligned}
 &0.2\text{mm} \sim 0.5\text{mm} \text{未満} = 2.80 \quad \text{m} \\
 &0.5\text{mm} \sim 1.0\text{mm} \text{未満} = 1.50 \quad \text{m}
 \end{aligned}$$

(2) エポキシ樹脂注入工標準使用量

注記） ・ ひび割れ深さは、ひび割れ幅の200倍を推定した。
 ・ 注入材の密度はカタログ、ロス率は、メーカー聞き取り。
 ・ シール材の密度はカタログ、ロス率は、土木工事標準積算基準 P483。

0.2mm～0.5mm未満

・ 注入材 （エポキシ樹脂系注入材3種）

$$\begin{aligned}
 &\text{ひび割れ幅 (m)} \times \text{深さ (m)} \times \text{延長 (m)} \times \text{密度 (kg/m}^3\text{)} \times \text{ロス率 (15\%)} \\
 &0.00035 \times 0.07 \times 2.80 \times 1580 \times 1.3 = 0.14 \quad \text{kg}
 \end{aligned}$$

・ シール材

シール材 幅75 (mm)、厚み2 (mm)

$$\begin{aligned}
 &\text{シール材幅 (m)} \times \text{シール材厚 (m)} \times \text{延長 (m)} \times \text{密度 (kg/m}^3\text{)} \times \text{ロス率 (37\%)} \\
 &0.075 \times 0.002 \times 2.8 \times 1360 \times 1.37 = 0.78 \quad \text{kg}
 \end{aligned}$$

・ 注入器具

250 (mm) 間隔

$$2.80 / 0.25 = 11 \quad \text{個}$$

0.5mm～1.0mm未満

・ 注入材 （エポキシ樹脂系注入材3種）

$$\begin{aligned}
 &\text{ひび割れ幅 (m)} \times \text{深さ (m)} \times \text{延長 (m)} \times \text{密度 (kg/m}^3\text{)} \times \text{ロス率 (15\%)} \\
 &0.0008 \times 0.16 \times 1.50 \times 1580 \times 1.3 = 0.39 \quad \text{kg}
 \end{aligned}$$

・ シール材

シール材 幅75 (mm)、厚み2 (mm)

$$\begin{aligned}
 &\text{シール材幅 (m)} \times \text{シール材厚 (m)} \times \text{延長 (m)} \times \text{密度 (kg/m}^3\text{)} \times \text{ロス率 (37\%)} \\
 &0.075 \times 0.002 \times 1.5 \times 1360 \times 1.37 = 0.42 \quad \text{kg}
 \end{aligned}$$

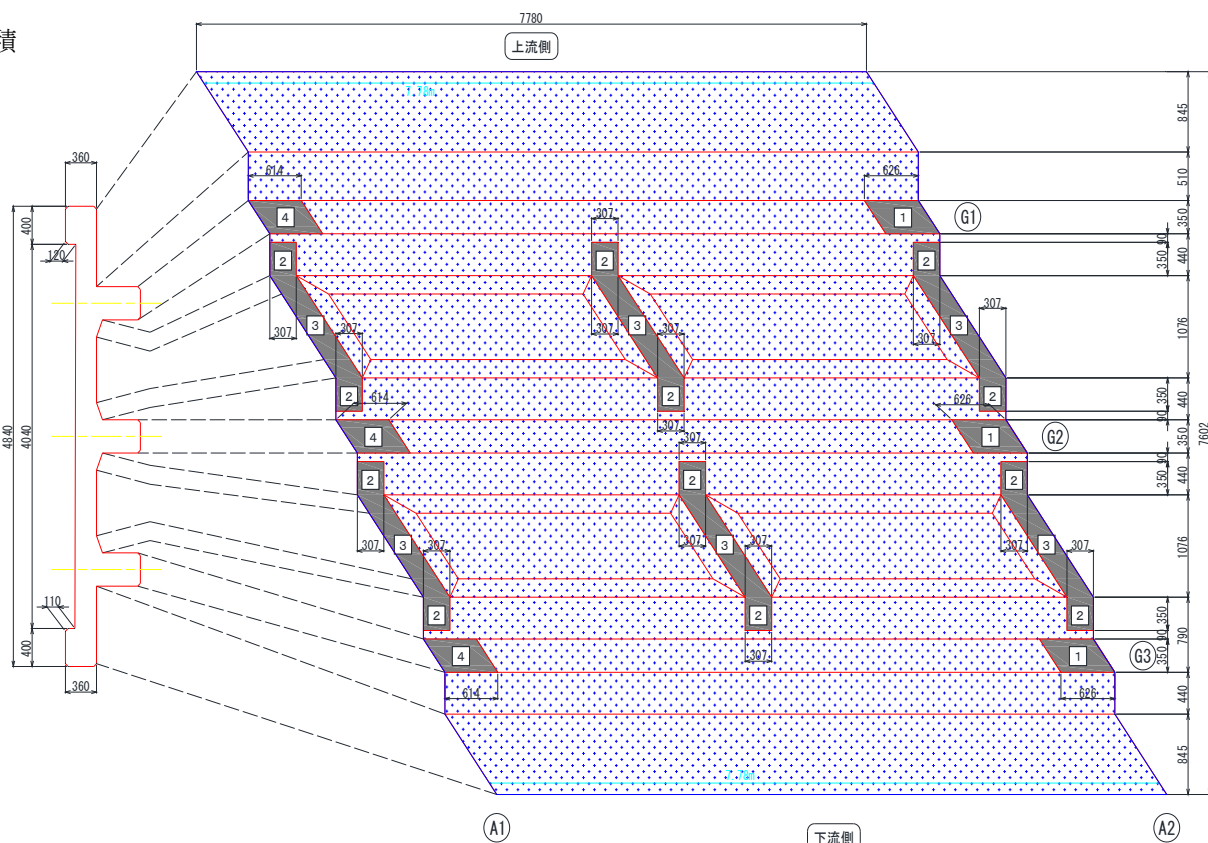
・ 注入器具

250 (mm) 間隔

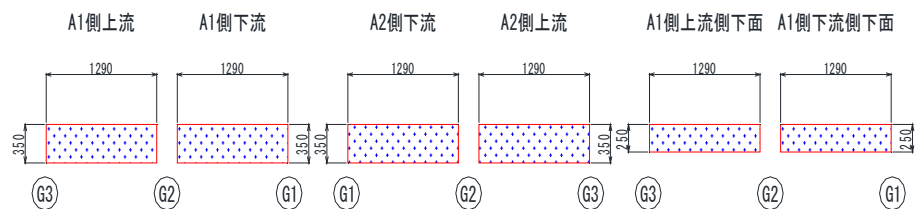
$$1.500 / 0.25 = 6 \quad \text{個}$$

表面積

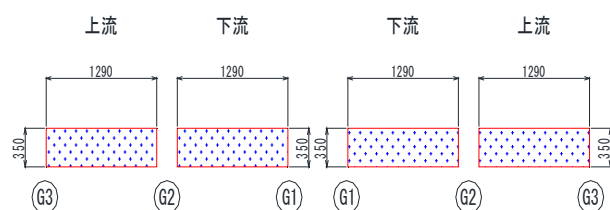
圖面橫斷



中間横桁下面図



A1端横桁側面図



表面積計算

名 称	種 別	細別	計 算 式	面数	部材数	面 積
桁下	下面	全体	7.602×7.780	1	1	59.14
横桁	側面		1.290×0.350	1	6	2.71
	下面		1.290×0.250	1	2	0.65
控除部	1		$- 0.350 \times 0.626$	1	3	-0.66
	2		$- 0.350 \times 0.307$	1	12	-1.29
	3		$- 1.076 \times 0.307$	1	6	-1.98
	4		$- 0.350 \times 0.614$	1	3	-0.64
		計				57.93

(1) 下地処理工		洗淨・清掃							
A	=					=	57.93	m2	
(2) 表面処理工		けい酸塩系 シラン混合型							
		使用量及びロス率はメーカー聞き取りによる							
A	=					=	57.93	m2	
		面積 (m2)		使用量 (kg/m2)		ロス率			
w	=	57.93	×	0.15	×	1.2	=	10.4	kg
(3) 水切設置工									
・上流側									
L	=	7.78				=	7.78	m	
・下流側									
L	=	7.78				=	7.78	m	
						合計	=	15.56	m

2.5. 防錆処理工

名 称	種 別	細別	計 算 式	面数	部材数	面 積
支承	G1,G2,G3	側面	0.490×0.010	2	6	0.06
			0.300×0.010	1	6	0.02
		計				0.08

(1) 素地調整 (3種ケレンA)

A = 0.08 = 0.08 m2

(2) 常温亜鉛めっき塗料塗布

A = 0.08 = 0.08 m2

2.6. 舗装工

2.6.1. 舗装版切断工

(1) アスファルト舗装 (t=50mmと仮定)

$$L = 5.944 + 5.944 = 11.888 \text{ m}$$

2.6.2. 舗装版破碎工

(1) アスファルト舗装

橋面舗装 (t=15mm)

$$a1 = 0.344 \times 4.840 \times 2 = 3.330 \text{ m}^2$$

$$a2 = 4.040 \times 7.800 = 31.512 \text{ m}^2$$

背面土工部 (t=50mm)

$$a3 = 2.000 \times 4.840 \times 2 = 19.360 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 54.202 \text{ m}^2$$

2.6.3. 殻運搬

(1) アスファルト舗装 (t=15mm)

$$V = 54.20 \times 0.015 = 0.813 \text{ m}^3$$

2.6.4. 殻処分

(1) アスファルト舗装 (t=15mm)

$$V = 0.813 = 0.813 \text{ m}^3$$

$$W = 0.813 \times 2.35 = 1.911 \text{ t}$$

2.6.5. アスファルト舗装工

(1) 橋面舗装 密粒度アスコン(13)

表層 (t=30mm)

$$A = 3.330 + 31.512 = 34.842 \text{ m}^2$$

(2) 接続道路 密粒度アスコン(13)

基層

$$A = 19.360 = 19.360 \text{ m}^2$$

表層

$$A = 19.360 = 19.360 \text{ m}^2$$

2.7. 伸縮目地補修工

(1) 常温目地材 (アスファルト系 比重 1.0)

$$L = 5.94 + 5.94 = 11.88 \text{ m}$$

$$V = 11.88 \times 0.03 = 0.36 \text{ m}^3$$

$$W = 0.360 \times 1.0 = 0.36 \text{ kg}$$

(2) バックアップ材

$$L = 11.88 = 11.88 \text{ m}$$

$$N = 11.88 \div 2 = 6 \text{ 本}$$

2.8. 防護柵補修工

(1) 部材取替工 (ガードレール Gr-C-2B-4H)

・ガードレール復旧

$$L = 7.00 + 7.00 = 14.00 \text{ m}$$

・直ビーム

$$N = 2 + 2 = 4 \text{ 枚}$$

・袖ビーム

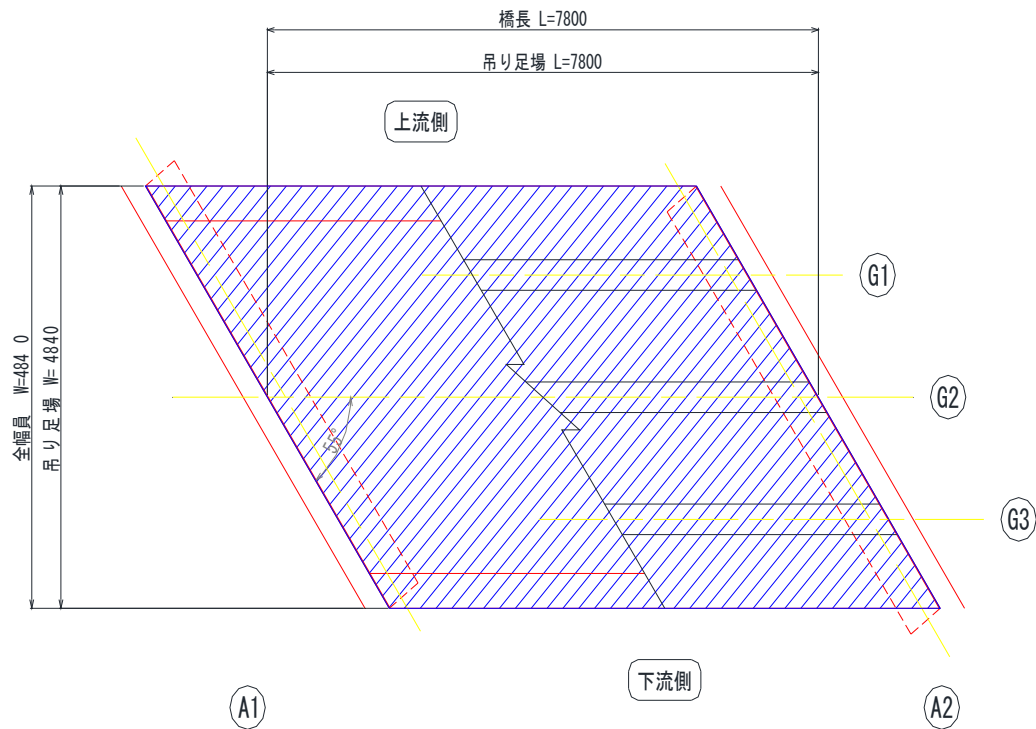
$$N = 2 + 2 = 4 \text{ 枚}$$

・笠木

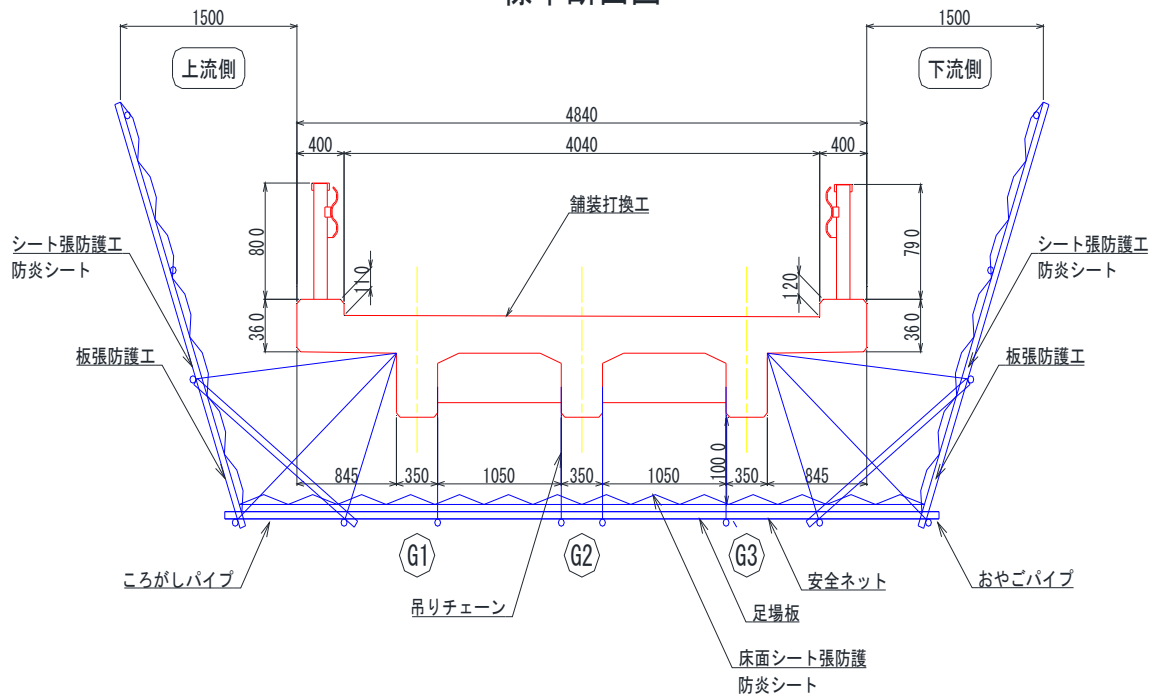
$$N = 4 + 4 = 8 \text{ 枚}$$

2.9.仮設工(吊足場)

平面図



標準断面図



仮設足場数量表

種 類		寸 法 (m) 全幅員 (地覆外縁間距離) × 橋長又は必要長	面積 (m ²)
TYPEA1	吊り足場 (桁高h<1.5m)	4.84 × 7.80	37.75
床面シート張防護設置		〃	37.75
TYPEB	朝顔	〃	37.75
	板張防護工	〃	37.75
	シート張防護工	〃	37.75

※積算条件は「橋梁架設工事の積算」(一般社団法人 日本建設機械施工協会)を参照

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 59 三原市 00-03. 08. 01 (0)	《凡例》 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン	
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 I C T補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	41 橋梁保全工事 04 一般交通影響有り(2) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0. 04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁保全工事					Y1G03 レベル1
橋梁付属物工	1	式			Y1G0321 レベル2
伸縮継手工	1	式			Y1G032101 レベル3
伸縮目地補修	1	式			Y4999 レベル4
常温目地注入工 30×20mm 手間のみ	1	橋			V0007 00
橋梁補修工	1	橋			単第0 -0001 表 Y1G0324 レベル2
ひび割れ補修工	1	式			Y1G032404 レベル3
充てん工法 【ポリマーセメント系注入材】	1	式			Y1G03240401 レベル4
	1	構造物			

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ひび割れ補修工(充てん工法) 補修延べ延長20m未満の場合	1	構造物			S1020031 00 単第0 -0002 表
低圧注入工法 【ポリマー超微粒子セメント系】	1	構造物			Y1G03240402レベル4
ひび割れ補修工(低圧注入工法) 補修延べ延長25m未満の場合 ポリマーセメント系	1	構造物			S1020035 00 単第0 -0003 表
断面修復工	1	式			Y1G032405 レベル3
左官工法 【N-SSI工法 相当】	1	構造物			Y1G03240501レベル4
断面修復工(左官工法) 鉄筋ケレン・防錆処理を含む 修復延べ体積0.1m3以上	1	構造物			V0005 00 単第0 -0004 表
表面被覆工	1	式			Y1G032406 レベル3
下地処理	30	m2			Y4999 レベル4
下地処理 サンダーケレン	30	m2			V0061 00 単第0 -0005 表

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
表面含浸工 【ケイ酸リチウム系含浸材（シラン混合型）】	30	m2			Y4999 レベル4
表面含浸工 コンクリートキーパー 相当品	1	橋			V0062 00 単第0 -0006 表
水切設置工	1	式			Y3999 レベル3
水切設置工	27	m			Y4999 レベル4
水切設置工 水切りアイドリップ 相当品	27	m			V0003 00 単第0 -0007 表
橋梁塗装工	1	式			Y3999 レベル3
塗替塗装工 【さび安定化防錆塗装】	1	橋			Y4999 レベル4
防錆塗装工 NKさび安定化防錆工法 相当	1	橋			V0004 00 単第0 -0008 表
構造物撤去工	1	式			Y1G0327 レベル2

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
運搬処理工	1	式			Y1G032716 レベル3
殻運搬 【コンクリート殻】	0.1	m3			Y1G03271601 レベル4
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離3.3km以下(1.6km超)	0.1	m3			SPK21040138 00 単第0 -0009 表
殻処分 【コンクリート殻】	0.1	m3			Y1G03271602 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
コンクリート塊受入費 再生工場搬入	0.3	t			T9005 00
仮設工	1	式			Y1G0328 レベル2
足場工	1	式			Y3999 レベル3
足場 【吊足場】	1	m2			Y4999 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
足場工（床版補強工） 桁高1．5m未満	36	m2			S3030011 00 単第0 -0010 表
足場工（朝顔）（床版補強工） 両側朝顔	36	m 2			S3030013 00 単第0 -0011 表
防護工（床版補強工） シート張防護工 両側朝顔	36	m 2			S3030015 00 単第0 -0012 表
全工種共通仮設	1	式			Y1J01 レベル1
仮設工	1	式			Y1J0101 レベル2
交通管理工	1	式			Y1J010121 レベル3
交通誘導警備員	8	人			Y1J01012101 レベル4
交通誘導警備員B	8	人			R0369 00
直接工事費 #0020計=支給品等(材料), 無償貸付					

本工事費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
技術管理費					Z0006
技術管理費					YZZ06 レベル2
技術管理費	1	式			YZZ06001 レベル3
施工調査費	1	式			YZZ06001006 レベル4
橋梁塗膜分析試験	1	式			V0010 00
共通仮設費率分	1	式			単第0 -0013 表
					Z0019
計算情報…… 対象額……… 率………					
＊ ＊ 共通仮設費計 ＊ ＊					
＊ ＊ 純工事費 ＊ ＊					

本工事費 内訳表

頁0 -0008

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
現場管理費 計算情報…… 対象額……… 率………					
＊＊工事原価＊＊					
一般管理费率分 計算情報…… 対象額……… 率………					前払補正率…
契約保証費 計算情報…… 対象額……… 率………					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
＊＊工事価格＊＊					
＊＊消費税相当額＊＊ 計算情報…… 対象額……… 率………					
＊＊工事費計＊＊					
＊＊契約保証費計＊＊					

施工単価表

頁0 -0009

常温目地注入工

V0007

單第0 -0001 表

30 × 20mm

手間のみ

1

橋 当り

[illegible]

施工単価表

ひび割れ補修工(低圧注入工法)
補修延べ延長25m未満の場合

S1020035
ポリマーセメント系

単第0 -0003 表

1

構造物 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1. 500	人			
特殊作業員	2. 400	人			
普通作業員	1. 800	人			
超微粒子セメント系注入材 アーマ #600 相当	0. 369	kg			
可とう性エポキシシーラ材 E380F 相当	2. 487	kg			
低圧注入器具 無機系用 5回転用	26. 000	本			
諸雑費	6	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=1 【F】 注入材(kg) C=2 【F】 シール材(kg) E=4 【F】 低圧注入器具(個)			B=0. 369 D=1. 815 F=26	注入材の必要数量(kg/構造物) シーラ材の設計数量(kg/構造物) 低圧注入器具の必要数量(個/構造物)	

施工单価表

頁0 -0012

断面修復工（左官工法）
鉄筋ケレン・防錆処理を含む

V0005

修復延べ体積0.1m3以上

单第0 -0004 表

構造物 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0013

下地処理
サンダーケレン

V0061

單第0 -0005 表

m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0014

表面含浸工

V0062

單第0 -0006 表

コンクリートキーパー 相当品

1

橋 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0015

水切設置工

V0003

單第0 -0007 表

水切りアイドリップ 相当品

60

m

当り

[illegible]

施工単価表

防錆塗装工

V0004

単第0 -0008 表

NKさび安定化防錆工法 相当

1

橋 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋りょう世話役	9	人			
橋りょう塗装工	18	人			
普通作業員	9	人			
湿式塗膜剥離剤 パントレ 相当品	64	kg			
下塗り塗料 NK-100E	12	kg			
中・上塗り塗料 シールコート007M	15	kg			
機械器具損料費	1	式			
諸雑費	5	%			#06
*** 単位当たり ***	1	橋			

施工単価表

殻運搬
Co(無筋)構造物とりこわし
機械構成比: 43.38% 労務構成比: 41.88% 材料構成比: 14.74% 市場単価構成比: 0.00%

SPK21040138
DID区間無し 運搬距離3.3km以下(1.6km超)

単第0 -0009 表
1
標準単価: 1,007.70000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	43.38%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	41.88%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	14.74%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=14 運搬距離3.3km以下(1.6km超)		

施工单価表

頁0 -0018

足場工（床版補強工）

S3030011

單第0 -0010 表

桁高 1.5 m 未満

1

m2 当り

[illegible]

施工单価表

頁0 -0019

足場工（朝顔）（床版補強工）
両側朝顔

S3030013

單第0 -0011 表

m 2 当り

[illegible]

施工单価表

頁0 -0020

防護工（床版補強工）

S3030015

單第0 -0012 表

シート張防護工

兩側朝顔

m 2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0021

橋梁塗膜分析試験

V0010

單第0 -0013 表

1 式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0022

直接人件費

V0011

單第0 -0014 表

1 式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0023

事前準備

V0012

單第0 -0015 表

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0024

現地調査
塗膜採取

V0014

單第0 -0016 表

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0025

現地調査
移動

V0015

單第0 -0017 表

式 当り

[illegible]

施工単価表

報告書作成

V0016

單第0 -0018 表

頁0 -0026

式 当り

[illegible]

施工単価表

直接経費

V0017

単第0 -0019 表

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
一般消耗品	1	式			
復旧材 ローバル	1	本			
塗膜剥離剤 ネオリバー泥パック	1	缶			
採取機材損料	2	日			
前処理（PCB）	1	試料			
PCB含有量試験	1	試料			
前処理（重金属）	1	試料			
鉛含有量試験	1	試料			
クロム含有量試験	1	試料			
*** 単位当たり ***	1	式			

施工単価表

頁0 -0028

間接費

V0018

單第0 -0020 表

式 当り

[illegible]

総括情報表

頁0 -0001

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 59 三原市 00-03.08.01(0)	《凡例》 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン	
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 I C T補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	41 橋梁保全工事 04 一般交通影響有り(2) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁保全工事					Y1G03 レベル1
舗装工	1	式			Y1G0304 レベル2
舗装打換え工	1	式			Y1G030402 レベル3
舗装版切断 【アスファルト舗装版】	1	式			Y1G03040201 レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	12	m			SPK21040302 00
舗装版破碎(小規模) 【アスファルト舗装版】	12	m			単第0 -0001 表 Y1G03040203 レベル4
舗装版破碎積込(小規模土工)	54	m2			SPK21040018 00
般運搬 【アスファルト般】	54	m2			単第0 -0002 表 Y1G03040205 レベル4
	1	m3			

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬 舗装版破碎 DID区間無し 運搬距離4.5km以下(3.5km超)	1	m3			SPK21040138 00 単第0 -0003 表
殻処分 【アスファルト殻】	1	m3			Y1G03040206レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
アスファルト殻受入費 再生工場搬入	2	t			T9006 00
基層 【平均幅員3.0m超】 接道部	19	m2			Y1G03040209レベル4
基層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚50mm	19	m2			SPK21040232 00 単第0 -0004 表
表層 【平均幅員3.0m超】	54	m2			Y1G03040211レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 接道部 1層当り平均仕上厚35mm	19	m2			SPK21040234 00 単第0 -0005 表
表層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 橋面 1層当り平均仕上厚30mm	35	m2			SPK21040234 00 単第0 -0006 表

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
防護柵工	1	式			Y1G0307 レベル2
路側防護柵工	1	式			Y1G030701 レベル3
ガードレール 【Gr-C-2B-4H】 部材取替	14	m			Y1G03070101レベル4
ガードレール部材取替	1	橋			V0009 00 単第0 -0007 表
防護柵設置工(Gr) レール撤去 路側用_A・B・C種(旧_Ap・Bp・Cp種)	14	m			SS000129 00 単第0 -0009 表
橋梁付属物工	1	式			Y1G0321 レベル2
伸縮継手工	1	式			Y1G032101 レベル3
伸縮目地補修	1	橋			Y4999 レベル4
常温目地注入工 30×20mm	1	橋			V0008 00 単第0 -0010 表

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
橋梁補修工					Y1G0324 レベル2
	1	式			
ひび割れ補修工					Y1G032404 レベル3
	1	式			
低圧注入工法 【エポキシ樹脂系注入材3種】					Y1G03240402レベル4
	1	構造物			
ひび割れ補修工(低圧注入工法) 補修延べ延長25m未満の場合 エポキシ樹脂系					S1020035 00
	1	構造物			単第0 -0011 表
断面修復工					Y1G032405 レベル3
	1	式			
左官工法 【修復深さ d=5cm】					Y1G03240501レベル4
	1	構造物			
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) 修復延べ体積0.28m3					S1020041 00
	1	構造物			単第0 -0012 表
表面被覆工					Y1G032406 レベル3
	1	式			
下地処理					Y4999 レベル4
	58	m2			

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
下地処理 サンダーケレン	58	m2			V0061 00 単第0 -0013 表
表面含浸工 【ケイ酸リチウム系含浸材（シラン混合型）】	58	m2			Y4999 レベル4
表面含浸工 コンクリートキーパー 相当品	1	橋			V0062 00 単第0 -0014 表
水切設置工	1	式			Y3999 レベル3
水切設置工	16	m			Y4999 レベル4
水切設置工 水切りアイドリップ 相当品	16	m			V0003 00 単第0 -0015 表
橋梁塗装工	1	式			Y3999 レベル3
防錆処理工 【常温亜鉛メッキ塗料】	1	橋			Y4999 レベル4
防錆塗装	1	橋			V0007 00 単第0 -0016 表

本工事費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
構造物撤去工	1	式			Y1G0327 レベル2
運搬処理工	1	式			Y1G032716 レベル3
殻運搬 【コンクリート殻】	0.2	m3			Y1G03271601レベル4
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離5.7km以下(3.3km超)	0.2	m3			SPK21040138 00 単第0 -0017 表
殻処分 【コンクリート殻】	0.2	m3			Y1G03271602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
コンクリート殻受入費	0.4	t			W0001
仮設工	1	式			Y1G0328 レベル2
足場工	1	式			Y3999 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0008

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
足場 【吊足場】	1	m2			Y4999 レベル4
足場工（床版補強工） 桁高1．5m未満	38	m2			S3030011 00 単第0 -0018 表
足場工（朝顔）（床版補強工） 両側朝顔	38	m 2			S3030013 00 単第0 -0019 表
防護工（床版補強工） シート張防護工 両側朝顔	38	m 2			S3030015 00 単第0 -0020 表
全工種共通仮設	1	式			Y1J01 レベル1
仮設工	1	式			Y1J0101 レベル2
交通管理工	1	式			Y1J010121 レベル3
交通誘導警備員	12	人			Y1J01012101レベル4
交通誘導警備員B	12	人			R0369 00

本工事費 内訳表

頁0 -0009

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
直接工事費 #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報…… 対象額…… 率……					
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費 計算情報…… 対象額…… 率……					
工事原価					
一般管理費率分 計算情報…… 対象額…… 率……					前払補正率…
契約保証費 計算情報…… 対象額…… 率……					当初請対額 当初対象額

本工事費 内訳表

頁0 -0010

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
一般管理費計					
※※工事価格※※					
※※消費税相当額※※ 計算情報…… 対象額…… 率……					
※※工事費計※※					
※※契約保証費計※※					

施工単価表

頁0 -0011

舗装版切断
アスファルト舗装版
機械構成比: 6.24% 労務構成比: 54.57% 材料構成比: 39.19% 市場単価構成比: 0.00%

SPK21040302
アスファルト舗装版厚15cm以下

単第0 -0001 表
標準単価: 1 m 562.41000 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	4.22%		コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		MTPC00056 MTPT00056
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.07%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	9.53%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.29%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)	36.35%		コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)		TTPC00015 TTPT00015
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.92%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0012

鋪裝版切断

SPK21040302

單第0 -0001 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

皿 当り

機械構成比: 6.24%

勞務構成比:

54.57%

材料構成比: 39.19%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

562.41000

[illegible]

施工単価表

舗装版破碎積込(小規模土工)

SPK21040018

単第0 -0002 表

頁0 -0013

機械構成比: 23.01% 労務構成比: 69.05% 材料構成比: 7.94% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,524.60000 1 m2 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	23.01%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3		MTPC00077 MTPT00077
運転手(特殊)	69.05%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.94%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

施工単価表

殻運搬
舗装版破碎
機械構成比: 19.75%

SPK21040138
DID区間無し 運搬距離4.5km以下(3.5km超)
労務構成比: 70.85%

単第0 -0003 表
材料構成比: 9.40%

1
標準単価: 3,688.60000

m3 当り
3,688.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	19.75%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	70.85%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	9.40%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 C=1 E=1 舗装版破碎 DID区間無し -(全ての費用)			B=4 D=20 機械積込(小規模土工) 運搬距離4.5km以下(3.5km超)		

施工単価表

頁0 -0015

基層(車道・路肩部)

平均幅員3.0m超

機械構成比: 1.77%

労務構成比: 11.21%

SPK21040232

1層当り平均仕上厚50mm

材料構成比: 87.02%

単第0 -0004 表

1

標準単価:

m2 当り

1,364.30000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3～6.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.14%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3～6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10～12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.18%		ロードローラ [マカダム]質量10t～12t		KTPC00047 KTPT00047
<賃>タイヤローラ 質量8～20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.18%		タイヤローラ 質量8～20t		KTPC00007 KTPT00007
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	4.11%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	2.34%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	2.28%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	0.77%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0 -0016

基層(車道・路肩部)
平均幅員3.0m超
機械構成比: 1.77%
SPK21040232
1層当り平均仕上厚50mm
労務構成比: 11.21%
材料構成比: 87.02%
市場単価構成比: 0.00%
単第0 -0004 表
標準単価: 1
m2 当り
1,364.30000

代表機材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生粗粒度(20)		77.94%		再生粗粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm			TTPC00023 TTPT00281
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		8.45%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用			TTPC00026 TTPT00026
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油		0.54%		軽油1.2号パトロール給油			TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)				その他(材料)			EZ009
積算単価				積算単価			E9999
A=4 C=8 G=1 I=1	平均幅員3.0m超 再生粗粒度アスファルト混合物(20) - -(全ての費用)			B=50 E=2 H=1	1層当り平均仕上り厚(mm) PK-3 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)							

施工単価表

頁0 -0017

表層(車道・路肩部)
平均幅員3.0m超 接道部
機械構成比: 1.66% 労務構成比: 10.55% 材料構成比: 87.79% 市場単価構成比: 0.00%

SPK21040234
1層当り平均仕上厚35mm

単第0 -0005 表

1
標準単価:

m2 当り
1,451.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3～6.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.07%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3～6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10～12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.17%		ロードローラ [マカダム]質量10t～12t		KTPC00047 KTPT00047
<賃>タイヤローラ 質量8～20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.17%		タイヤローラ 質量8～20t		KTPC00007 KTPT00007
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	3.86%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	2.20%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	2.15%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	0.73%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0 -0018

表層(車道・路肩部)
平均幅員3.0m超 接道部
機械構成比: 1.66% 労務構成比: 10.55% 材料構成比: 87.79% 市場単価構成比: 0.00%

SPK21040234
1層当り平均仕上厚35mm

単第0 -0005 表

1
標準単価:

m2 当り
1,451.80000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(13)	84.48%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPC00024 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用	2.71%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用		TTPC00027 TTPT00027
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.51%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 C=7 G=1 I=1	平均幅員3.0m超 再生密粒度アスファルト混合物(13) - -(全ての費用)		B=35 E=1 H=1	1層当り平均仕上り厚(mm) PK-4 -	
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):35.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0019

表層(車道・路肩部)

平均幅員3.0m超 橋面

機械構成比: 1.66%

労務構成比:

SPK21040234

1層当り平均仕上厚30mm

10.55%

材料構成比:

87.79%

市場単価構成比:

0.00%

単第0 -0006 表

標準単価:

m2 当り

1,451.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3～6.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.07%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3～6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10～12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.17%		ロードローラ [マカダム]質量10t～12t		KTPC00047 KTPT00047
<賃>タイヤローラ 質量8～20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.17%		タイヤローラ 質量8～20t		KTPC00007 KTPT00007
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	3.86%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	2.20%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	2.15%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	0.73%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0 -0020

表層(車道・路肩部)
平均幅員3.0m超 橋面
機械構成比: 1.66% 労務構成比: 10.55% 材料構成比: 87.79% 市場単価構成比: 0.00%

SPK21040234
1層当り平均仕上厚30mm

単第0 -0006 表

1
標準単価:

m2 当り
1,451.80000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(13)	84.48%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPC00024 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用	2.71%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用		TTPC00027 TTPT00027
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.51%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 平均幅員3.0m超 C=7 再生密粒度アスファルト混合物(13) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=30 1層当り平均仕上り厚(mm) E=1 PK-4 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):30.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0021

ガードレール部材取替

V0009

單第0 -0007 表

1

橋 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0022

**防護柵設置工(Gr) レール設置
路側用 A・B・C種 手間のみ**

SS000125

單第0 -0008 表

1 Ⅲ 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0023

防護柵設置工(Gr) レール撤去
路側用 A・B・C種(旧 Ap・Bp・Cp種)

SS000129

單第0 -0009 表

1

III

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0024

常温目地注入工
30×20mm

V0008

單第0 -0010 表

1

橋 当り

[illegible]

施工単価表

ひび割れ補修工(低圧注入工法)
補修延べ延長25m未満の場合

S1020035

単第0 -0011 表

エポキシ樹脂系

1

構造物 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.500	人			
特殊作業員	2.400	人			
普通作業員	1.800	人			
可とう性注入用エポキシ樹脂 3種 E2420 相当	0.534	kg			
可とう性エポキシシール材 E380F 相当	1.645	kg			
低圧注入器具 エポキシ用	17.000	本			
諸雑費	6	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=21 [F] 注入材(kg) C=2 [F] シール材(kg) E=3 [F] 低圧注入器具(個)			B=0.534 D=1.201 F=17	注入材の必要数量(kg/構造物) シール材の設計数量(kg/構造物) 低圧注入器具の必要数量(個/構造物)	

施工単価表

断面修復工(左官工法)
(鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む)

S1020041
修復延べ体積0.28m3

単第0 -0012 表

1

構造物 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	6.440	人			
特殊作業員	10.640	人			
普通作業員	7.000	人			
ポリマーセメントモルタル 左官工法用	0.330	m3			
諸雑費	11	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=0.28 1構造物当り修復延べ体積(m3/構造物) C=0.28 断面修復材の設計数量(m3/構造物)			B=55 【F】 断面修復材(m3)		

施工単価表

頁0 -0027

下地処理 サンダーケレン

V0061

單第0 -0013 表

1

m2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0028

表面含浸工

V0062

單第0 -0014 表

1

橋 当り

コンクリートキーパー 相当品

[illegible]

施工単価表

頁0 -0029

水切設置工

V0003

單第0 -0015 表

水切りアイドリップ 相当品

60

III

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0030

防鏽塗裝

V0007

單第0 -0016 表

1

橋 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0031

殻運搬
Co(無筋)構造物とりこわし
機械構成比: 43.38%

SPK21040138
DID区間無し 運搬距離5.7km以下(3.3km超)
労務構成比: 41.88%

単第0 -0017 表
市場単価構成比: 0.00%

1
標準単価:

m3 当り
1,199.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	43.38%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	41.88%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.74%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=25 運搬距離5.7km以下(3.3km超)		

施工単価表

頁0 -0032

足場工（床版補強工）

S3030011

單第0 -0018 表

桁高 1.5m 未満

1

m2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0033

足場工（朝顔）（床版補強工）

S3030013

單第0 -0019 表

m2 当り

兩側朝顔

[illegible]

施工単価表

頁0 -0034

防護工（床版補強工）

S3030015

單第0 -0020 表

シート張防護工

兩側朝顔

1

m 2

当り

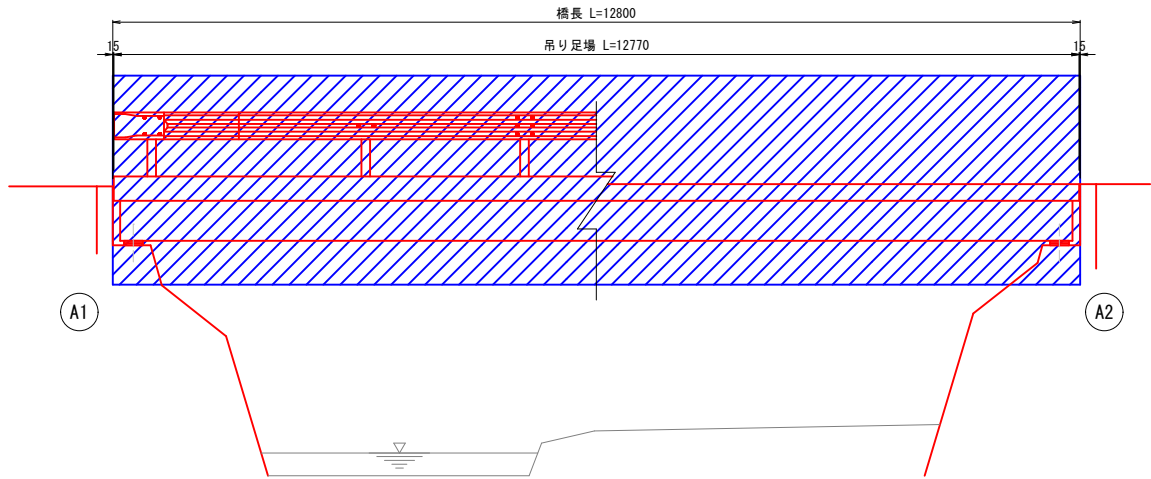
[illegible]

図面番号	1-8		縮尺	図 示	
工 種	橋梁補修工事				
種 別	長谷47号線 1号橋梁 仮設足場図			番 号	
路 線 名	市道 長谷47 号線				
工事箇所	三原市 長谷				
三 原 市					

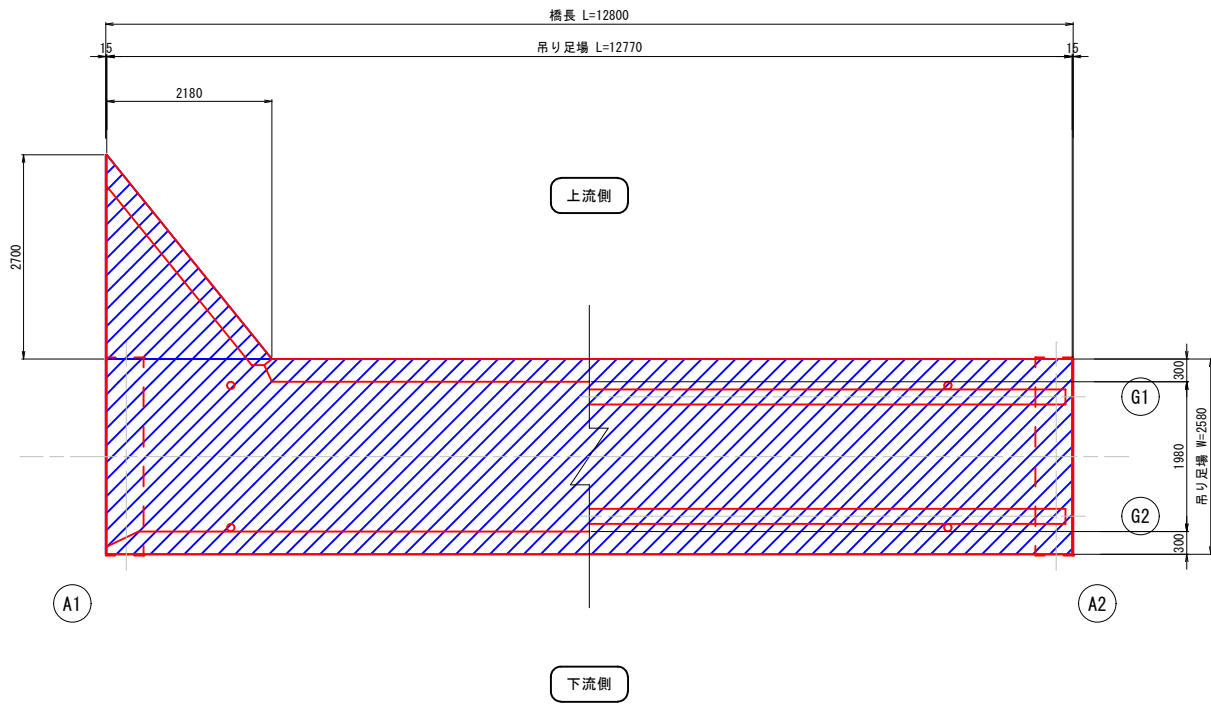
仮設足場図(参考図)

注記) 本図面は現地での簡易な計測に基づき作成したものである。
部材寸法は施工前に現地を再確認の上決定のこと。

側 面 図 S=1:50

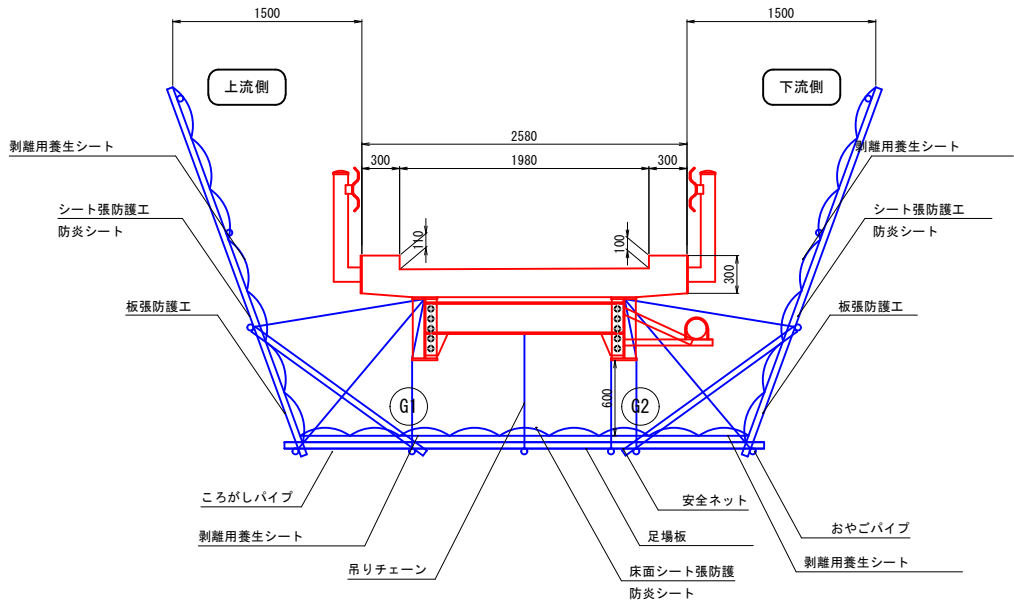


平 面 図 S=1:50



標準断面図 S=1:30

(湿式塗膜剥離剤工用養生設備工含む)



仮設足場数量表

種 類		寸 法 (m)	面積 (m ²)
TYPEA1	吊り足場 (桁高h<1.5m)	全幅員(地覆外縁間距離)×橋長又は必要長 2.58×12.77+(2.70×2.18)/2	35.89
	床面シート張防護設置	〃	35.89
TYPEB	朝顔	〃	35.89
	板張防護工	〃	35.89
	シート張防護工	〃	35.89
湿式塗膜剥離剤工用養生設備工		〃	35.89

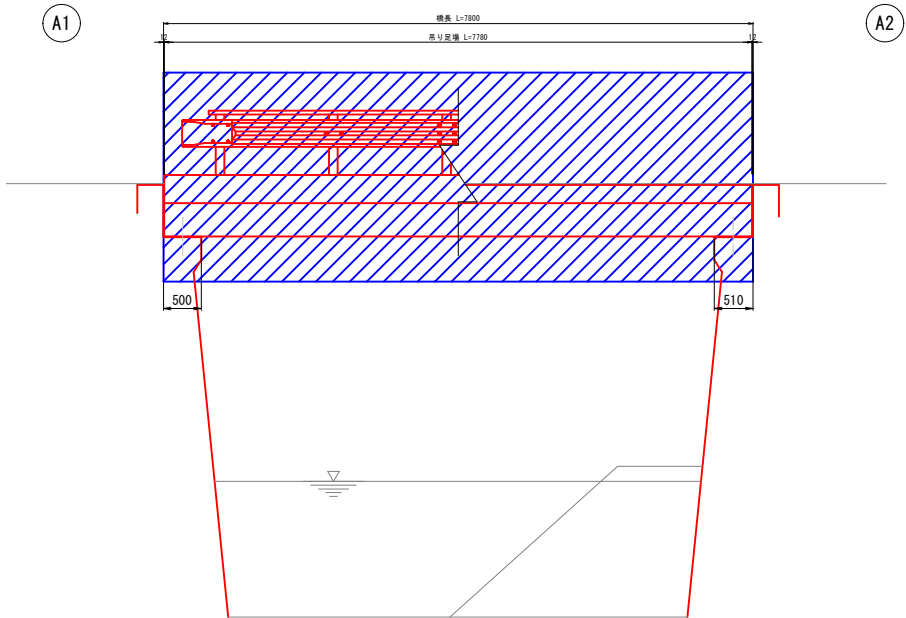
※積算条件は「橋梁架設工事の積算」(一般社団法人 日本建設機械施工協会)を参照

図面番号	2-7	縮尺	図 示	
工 種	橋梁補修工事			
種 別	高坂47号線 1号橋梁 仮設足場図	番 号		
路 線 名	市道 高坂47 号線			
工事箇所	三原市 高坂町			
三 原 市				

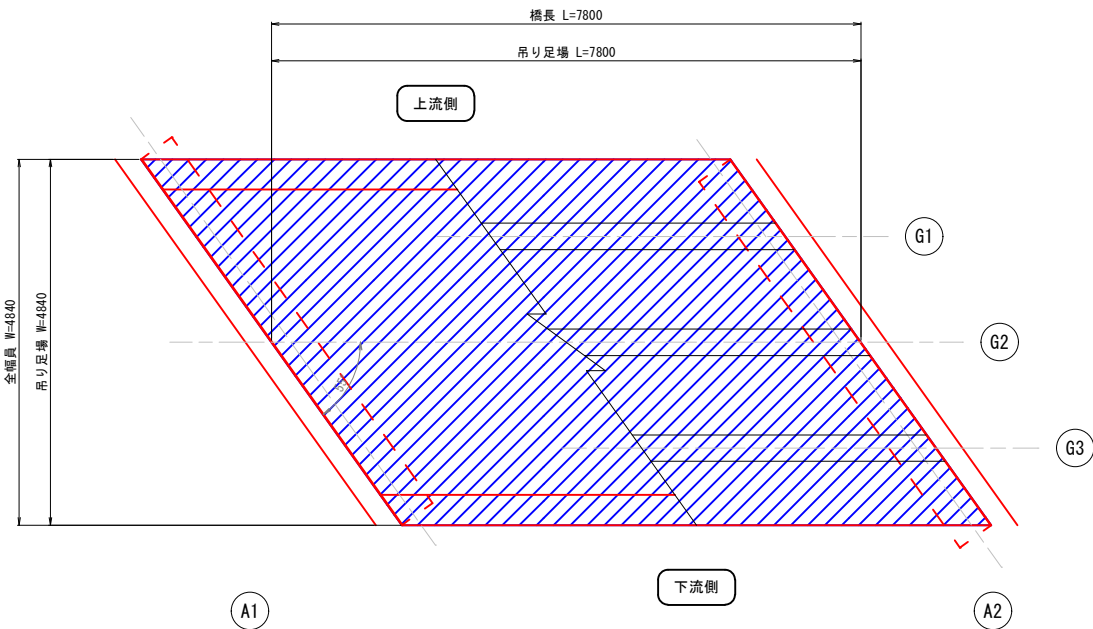
仮設足場図(参考図)

注記) 本図面は現地での簡易な計測に基づき作成したものである。
部材寸法は施工前に現地を再確認の上決定のこと。

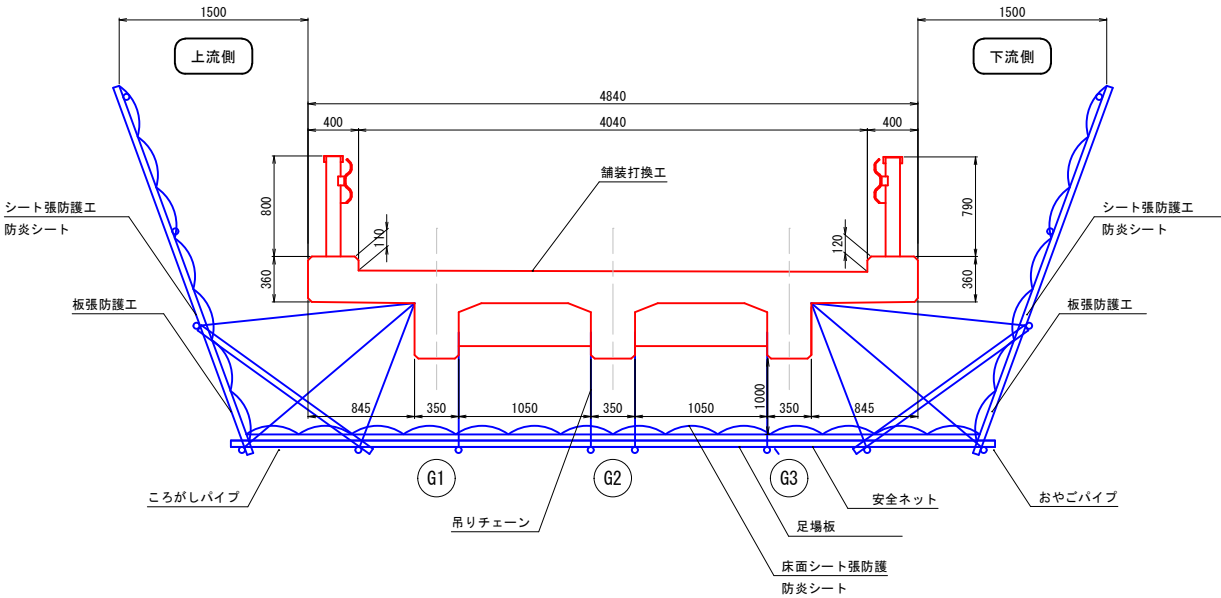
側 面 図 S=1:50



平 面 図 S=1:50



標準断面図 S=1:30



仮設足場数量表

種 類		寸 法 (m)	面積 (m2)
		全幅員(地覆外縁間距離)×橋長又は必要長	
TYPEA1	吊り足場(桁高<1.5m)	4.84×7.80	37.75
床面シート張防護設置		〃	37.75
TYPEB	朝顔	〃	37.75
	板張防護工	〃	37.75
	シート張防護工	〃	37.75

※積算条件は「橋梁架設工事の積算」(一般社団法人 日本建設機械施工協会)を参照

位置図

